

アラリ (Arani) はロチャパンバ、サンタ・クルス鐵道で、サンタ・クルスへは飛行機の便がある。

(其他参考事項) コチャパンバはボリヴィアの都市中重要性に於て第一を占め、農業の盛な高原に位し、附近に數多の小町村が集つてゐる。東部ボリヴィアへの商品配給中心地である。當地には一流の商社があり、中には外國からの直輸入業を営むものがある。又有力な獨逸商社が數社ある。當地はラ・パスより高度が低く氣候は快適である。従つてラ・パス向とは異つた種類の商品に對する需要がある。當地はベニ及サンタ・クルス地方との取引が盛で、ボリヴィア中最も將來性のある市場と言ふべく、旅商に取つては注目し値する所である。

コロコロ (Corocoro) ラ・パスより六十八哩を距て同州、デスアグアデロ河の流域、海拔一三、一一九呎の高地にあり、人口約四千五百、氣候は寒冷である。鑛業の中心地で主要産物は銅、大麥及馬鈴薯等である。アメリカン・スマルティング・アンド・リファイニング (American Smelting And Refining Co.) 會社の經營するコロコロ合同銅會社 (Corocoro United Copper Mines) 及智利系のボリヴィア・コロン會社 (Compañia Corocoro de Bolivia) の銅山がある。銅山への糧食等の諸供給及身廻品等の取引が大量に行はれる。

グアキ (Guayqui) ラ・パス州デスアグアデロ河口に近くティティカカ湖の湖畔にある。ラ・パスから九十九杆、ベルーのモリェンドから五百六十三杆を距て、居る。グアキは交通の要衝として重要地點であるが、商取引の上からは左様でもない。ホテルにはグアキ・ホテルがある。

ラ・パス 人口一五〇、一六五、海拔一萬二千四百呎の高原上にあり、氣候は溫和で年平均溫度は華氏五十度であるが、一日の氣温の變化が甚しい。一年を通じ降雪を見ることは殆ど稀である。主要産物は小麥、大麥、馬鈴薯、ココア等で、綿、毛織物、靴、石鹼、硝子、紙、タイル等の製造が行はれる。

(季節) 乾季即ち冬は五月に始まり八月一杯続き、自九月至十一月乃至十二月は春である。雨期は十一月から翌年四月乃至五月迄続く。

(交通) 入國の經路は左の如くである。

(1) ベルー國モリェンドからベルー南部鐵道に依る—モリェンド港を金曜日に出發し、ブノで乗換へティティカカ湖を横斷し、グアキより鐵道にて土曜日正午ラ・パスに到着する。全旅程八百二十二杆、所要時間四十六時間。荷物の無料携帶量は百五十五封度。

(2) アリカより—アリカ、ラ・パス鐵道に依る。所要時間住路二十時間、復路十七時間。一週二回月曜及木曜日アリカ發、火曜及金曜に夫々ラ・パスに到着し、復路はラ・パスを木曜及月曜に出發し、アリカに金曜及火曜に到着する。兩地間の距離は四五八杆である。

(3) アントファガスタより—アントファガスタ・ボリヴィア鐵道に依る。汽車は火曜日にア市を發ち、水曜日午後ラ・パスに到着する。兩地間の距離は一、一六三杆、四十二時間を要する。

(ホテル) パリス (Paris)・プラサ (Plaza)・トリノ (Torino)・アムブルグ (Hamburg)・イタリアノ (Italiano)

サヴィオヤ (Savoya) 等の諸ホテルがあるが、その中パリスが最も高級である。外國旅商等はストレンジヤース・クラブ (Strangers Club) に滞在する者が多い。料金はホテルの格式に依り一定しないが、一日十乃至四十ボリヴィアノの間である。バス附の室は極少く、中央暖房装置を施してゐるホテルは皆無である。

(自動車) タクシーは汽車の到着を停車場前で待ち受けてゐるが、停車場から都心迄の料金は三ボリヴィアノ、外に荷物に對し追加料金を取る。一時間の貸切料は二十五ボリヴィアノだが、之等のタクシーは古車が多く、餘り良質なコンディションにならぬ。市中の短距離乗車賃は一人三ボリヴィアノ、二人四ボリヴィアノである。

(近隣旅行) ラ・パスを中心として出来る近隣への旅行は、鐵道又は自動車でコロコロ銅山へ、ソラタ及ユンガ地方への自動車旅行である。

(銀行) ボリヴィア中央銀行 (Banco Central de Bolivia)、商業銀行 (Banco Mercantil)、ボリヴィア・ナショナル銀行 (Banco Nacional de Bolivia)、ボリヴィア勸業銀行 (Crédito Hipotecario de Bolivia)、ボリヴィア鑛業銀行 (Banco Minero de Bolivia) の諸行がある。

(其他参考事項) スクレがボリヴィアの正式首府であるが、政府機關は交通の便利なラ・パスにある。ラ・パスは國の最も重要な都會であり、旅商は須く同地を訪問すべきである。代理店を置くのも當地が最も好適であり、當地を根據として國內各地をキャンパスすることが出来る。當地には有力な輸入卸商及小賣業者で直輸入をする商店も多ある。往時ボリヴィア奥地の商社は皆ラ・パスから商品を仕入れたが、近年コチャペンバ、オルーロ、ポトシ等の都會にも直輸入業者が設置されるに至つた。因にラ・パスは世界最高の都市の一である。

オルーロ (Oruro) デスアグアデロ河の附近、海拔二二、二二三呎の高原に位し、人口約三萬、オルーロ州の首府である。ラ・パスより二三三軒、コチャペンバから二一一軒を距て、之等都市との間には鐵道及飛行機の便がある。

氣候冷涼、平均温度華氏五十度、雨季は十二月から三月に至る約四ヶ月であるが、五月から九月に至る期間が最も快適な時季である。主要産物は銀、錫、銅、アンチモニー、ウアルフラム、ピズモット等の各種鑛物並に羊毛、獸皮等である。鑛業の外製靴、醸造等の工業が行はれる。附近のソカヴォン (Socavon) 鑛山は極めて有名である。

(ホテル) エデン (Eden)、イスパノ・アメリカノ (Hispano-Americano)、フアン・フアン (Fuenfuen) 等のホテルがあり、宿泊料は一日十四乃至三十ボリヴィアノ、設備は比較的良好だが、浴室數には制限がある。

(銀行) ボリヴィア中央銀行 (Banco Central de Bolivia)、商業銀行 (Banco Mercantil)、ボリヴィア・ナショナル銀行 (Banco Nacional de Bolivia) 銀行。

(参考事項) オルーロは錫鑛山地域の商業中心地であり、且東、南、北の三方への鐵道交叉點である。當地の商業は従來専らラ・パスに依存してゐたが、近來直輸入を開始するに至つた。附近に多數の鑛山があるが、就中パティョ (Patio) 鑛山が最も有名である。オルーロの商社は廣汎な範圍に亘つて之等鑛山のキャンプに食糧其他必需品を供給しラ・パスの商社とは直接競争相手の立場に在る。

(注意) オルーロでは夜分非常に寒いから、旅行者は防寒用衣類の携行を忘れてはならぬ。

ポトシ(Potosí) 同名州首都、人口三萬五千、海拔一萬三千六百呎の高地にある。ピルコマヨ河の一支流に臨み、ラ・パスから六〇三軒、スクレから一七二軒、ウユニから二〇〇軒の距離にある。氣候は寒冷で、平均温度四十八度(華氏)、最高五十九度以上に昇ることは稀である。主要産物は銀、錫、銅及鉛等の各種礦物で、その精鍊も行はれる。當市にリオ・ムラト(Rio Mulato)に於て分岐する支線に依りアントファガスタ及ボリヴィア鐵道と連結されてゐる。リオ・ムラト、ポトシ間の支線は世界最高の米突軌道で、最高地點は一萬五千八百呎に達し、兩地間の所要時間は九時間半足らずである。

(銀行) 中央、商業及ナショナルの三銀行があることオルロと同様である。

(ホテル) スプレンドイド(Splendid)、エスパニヤ(España)、パリス(Paris)。

(参考事項) ポトシは古くから世界著名の鑛山地帯として知られ、特にセロ・デ・ポトシ(Cerro de Potosí)の名はスペイン植民地時代から數百年に亘つて有名である。當地方との取引はアントファガスタ、オルロ及ラ・パスの三方から行はれるが、當地自身の大商人は直接輸入を希望して居り、既に之を行つて居る者もある。ポトシを中心としてプナ(Puna)、ベタンソス(Betanzos)、コタガイタ(Cotacaita)等の町があるが、此の地方は取引上から見ても大しき期待に値しない。

(注意) 土地が非常に高い爲、當地は殆ど常に寒く、最低温度零下八度にも降ることがあるから、當地への旅行者で心臓の弱い者は豫め醫師の診察を請ふべきである。

フエルト・スアレス(Puerto Suarez) サンタ・クルス州、ブラジルとの國境に近く、パラグアイ河に面した河港である。ラ・パスから陸路千六百軒、サンタ・クルスから六百三十軒、ブラジル側のコロンベへは河を溯ること十七軒を距て、又フエロス・アイレスからはラ・プラタ、パラナ及パラグアイの諸川を溯つて二千七百九十軒の距離にある。氣候は日中は暑いが夜は涼しい。産物はゴムとカカオである。當地に達する最捷路はコチャベンベ、サンタ・クルス等から飛行機に依ることである。ブラジル側のコロンベから河蒸汽で二時間かゝる。サンタ・クルスとの間に自動車道路があるが、右は乾季のみ通行可能で、種々の好條件の下でも約六日間を要する長旅である。

【註】 フエルト・スアレスはサンタ・クルス州の物産であるゴム、ブラジル・ナツト及珈琲の積出港であるが、輸入は人口が比較的稀薄であり且住民の大部分が印甸人なので餘り盛でない。當地との取引は屢々コロンベを根據として行はれる。

プラカヨ(Pulacayo) ポトシ州にあり、海拔一萬三千四百呎、人口約四千、ウユニより三十二軒、オルロより三〇八軒を距たる。主要産物は銀、鉛及亞鉛。アントファガスタより鐵路ウユニ經由、同地より私鐵に乗り換へて達する。當地には世界最大銀山の二つあるCompañia Huanchaca de Boliviaがあり、同社は始めアントファガスタからの鐵道を敷設し、ボリヴィア開發に資する處極めて大であつた。

リベラータ(Riberaita) ベニー縣、同名河マドレ・デ・ディオス河との合流點、河面上約三十米の地に位し人口約四

千の小邑である。ラ・パスより一、五四二軒、ヴィリア・ベリアより二〇〇軒、カチュエラ・エスベランサより一六〇軒を距つ。當地はブラジルとの國境に接し税關がある。當地への最捷徑路はコチャパンベ、サンタ・クルス等からロイド會社の飛行機に依ることである。平均温度華氏七十五度。主要産物はゴム、ブラジル・ナツト、砂糖等。ポリヴィア中央銀行の支店がある。當地はベニ河流域の最大の商業中心地で數軒の輸出入商社がある。マデーラマモレ鐵道(Mamoré)並びに航空路の開設以來當地への旅行は從來ほど困難ではなくなつた。

サンタ・クルス(Santa Cruz) 同名州の首府、海拔一、五〇〇呎、人口三二、三三三。ラ・パスより一、一六九軒、コチャパンベより四四二軒、ポトシより六二四軒の距離にある。氣候温暖、平均温度華氏八〇度。主要産物酒精及石油、尙煙草、チョコレート、皮革等の工場がある。コチャパンベよりロイド航空會社の飛行便が一月二回あり、當地サンタ・クルス及びヤクイバ間には毎週一回ある。陸路による交通は原始的な驢馬を利用する等極めて不便である。

(季節) 六月より十一月迄は乾季で氣温低く、十二月より五月に至る雨季は反對に高温である。乾季の氣候は日中は暑いが夜分は涼ぎよい。七月より十一月迄は雨量少く、十一月より三月迄は多雨期である。

(銀行) ポリヴィア中央銀行。

(ホテル) ロンドレス(Londres)及びロメルシオ(Comercio)の二あり、料金は一日十乃至二十ポリヴィアノム。

【註】 サンタ・クルスは豊饒な農業中心地であるが、從來運輸機關不備の爲その天然資源に比し商取引は少なかつたが、航空路の開設以來漸次其の重要性を増しつゝある。當地とアルゼンチンとの間の交易は亞國中北鐵道により

クイベ經由にて行はれる。而して從來當地の貿易は主として獨逸人が行つてゐたが、近年其他の國人も進出して來た。

スクレ(Sucre) チュキサカ州にあり、海拔八五〇〇呎、人口二六、一一三。コチャパンベより二九〇軒、ラ・パスより五〇六軒、ポトシより一七一軒を距てゐる。農産物を主要物産とする。コチャパンベより月二回飛行便あり、アントファガスタ及びラ・パスよりはリオ・ムラト及びポトシ經由鐵道が通じてゐる。

(季節) 溫和快適、年平均温度華氏六十一度、十一、十二の兩月には七十乃至八十度に達するが、六月には往々四十五度位に降下する。十二月より四月迄は雨期で、平均雨量は二十三吋である。

(ホテル) ロンドレス(Londres)及びロイヤル(Royal)の二ホテルあり、宿泊料は一日九乃至二十ポリヴィアノムであるが設備は良好とは言ひ難し。

【註】 スクレはポリヴィアの正式の首府であるが、政府の諸機關は前述の通りラ・パスにある。相當量の商取引が行はれ、當地商社は主としてラ・パス乃至ポトシと取引するが直接外國貿易を營むものもある。當地の近傍にはパディリア(Padilla)、コルケチャカ(Colquechaca)、モンテアグド(Montecagudo)等の小邑がある。

タリハ(Tarja) 同名州の首都、海拔六、三二二呎、人口一萬二千。氣候温暖で健康に適し、平均温度華氏六十四度内外である。ベルメホ(Bernejo)河の支流タリハ河に臨み、ラ・パスより九六六軒、ツピサ(Tupiza)より一三六

籽、アルゼンチンのキアカ (Quilaca) より一三六籽、スクレより四〇一籽の距離にある。主要産物は玉蜀黍、小麦、馬鈴薯、畜牛、獣皮、葡萄酒等の農畜産物である。

當地への旅行はツピサより驛馬にて約三日を要するが、現在では一年を通じ殆ど通行出来る自動車路もある外、前記亞國のキアカ又は當國ヴィリヤソン (Villazon) より自動車で約六時間で達する。

(銀行) ポリヴィア中央銀行、ナシオナル銀行。

(ホテル) プラサ (Plaza) 及びサヴォヤ (Savoya) の二あり、料金は一日九乃至十二ポリヴィアノである。

【註】 クリハは豊沃な農業地帯の中心であつて、附近は極めて天然資源に富む關係上商況殷賑である。當地は亞國に近接し、自國よりも同國への依存性が強し。

トリニダー (Trinidad) ベネー州首都、人口七、一〇一。マモレ河に沿ひ、ラ・パスより八三二籽、ヴィリヤ・ペリヤより七一二籽、コチャパンベより (チモレ經由) 四二六籽の距離にある。氣候は暑く平均温度華氏八十二度。物産は砂糖、畜牛、米、棉花、バナナ、カカオ、酒精等の農畜産物が主であるが、チ・コレイト、醸造、製氷等の工業も行はれる。

當地へはコチャパンベよりトードス・サントス經由一週一回航空便がある。陸路に依る旅行はお奨め出来ない。

(銀行) ポリヴィア中央銀行。

(ホテル) ラ・パス・ホテル。

【註】 當地はヴィリヤ・ペリヤ同様、附近が極めて豊饒な地であるから、漸次商業中心地としての重要性を増大しつつある。現在マモレ河から六哩程距つて居るが、計畫中の運河完成の曉には絆で往來出来ることとならう。又コチャパンベ、トードス・サントス間の道路が開通すれば、當地方は益々活氣を呈するに至るものと期待されてゐる。マラリヤ等の熱病豫防の爲キニーネを又蚊が非常に多いから蚊帳も携行すべきである。

ツピサ (Tupiza) ボトシ州にあり、人口一千五百。海拔九、八五九呎。ラ・パスより六九五籽、アルゼンチンのフイ (Tupiza) より四六一籽、クリハより一三六籽、スクレより三三三六籽を距て、居る。而してフイ、ラ・パス及オルーロからは鐵道があり、クリハ及スクレからは驛馬に依る。氣候は溫和快適であるが、七、八の兩月は寒冷である。主要産物は銀、錫、蒼鉛、亞鉛等の礦物及大麥、小麦、玉蜀黍、アルファルファ等の農産物で、工業には製粉業がある。

(ホテル) エウロパ (Europa)、アメリカノ (Americano)。

(銀行) 商業銀行、ナシオナル銀行及中央銀行の三がある。

【註】 ツピサは豊沃な農業地帯の中心地であると共に、附近には重要な鑛山があり、有力な商社も設置され、西南ポリヴィアの要衝である。

ウニニ (Uyuni) ボトシ州にあり、人口約四千、海拔一萬二千呎。オルーロより三〇六籽を距て鐵路八時間半、ア

ントフアガスタよりは六一七軒、鐵道で二十四時間を要す。當地はアントフアガスタ・ポリヴィア鐵道とアルゼンチンに至る國際鐵道との交叉點であつて、交通の要衝であり、税關が設置されてゐる。主要産物は錫、銀、蒼鉛等の鑛物及ヴィクローニヤの獸皮等である。ポリヴィア・ウアンチャカ會社 (Compañía Huanchaca de Bolivia) 及オフロカ農鑛會社 (Compañía Minera Agrícola y Oploca de Bolivia) 經營の鑛山は當地の附近にある。

ウニニは其の位置が風雨に晒された高原上にあり、町の西北に鹽沼がある關係上、その氣候は南米中最も寒冷と謂はれる。當地で商賣をする旅商は少類の市税を拂ふ必要がある。

欠

MISSING

チリ共和國 (República de Chile)

一、面積、地勢及氣候

面積 智利の面積は二十八萬六千三百九十六平方哩即ち七十四萬一千七百六十七平方千米である。南北の長さは約二千六百哩(約四千二百千米)、東西の幅は最も廣い所(アントフ、ガスタの直ぐ北)で二百二十一哩(三百五十五千米)、南部の最も狭い所は三十一哩(五十千米)で、平均幅員は百九哩(百七十六千米)であり、南米大陸の最短幅員はプエルト・ナタレス(Puerto Natales)に於ける九哩即ち十五千米である。

地形 巍峨たるアンデスの連峰は當國の東側の國境を形成し、二萬呎を超える高山が十九もある。同山脈は北から南に行くに従ひ漸次高度を減じ、ティエラ・デル・フエゴに於ては約五十呎そこ〜となる。アンデス山系と併行して北アメリカから南チロエ(Chiloé)島に至る海岸山脈(Cordillera de la Costa)が走つてゐる。首府サンティアゴの北は山勝ちで交通を阻害されるが、首府の南にはプエルト・モント(Puerto Montt)に至る約五百五十哩の間に亘り細長い大平野が開けてゐる。海岸山脈はモント港以南に於て群島の列をなしてホーン(Cabo de Hornos)岬に達してゐる。

る。

國を地理的に左の五地方に大別する。

(一)、北部地方 南緯十八度より二十七度に至る。人口稀薄、不毛の地で北方國境よりコピアポ (Copiapo) 邊迄續く砂漠地帯である。當地方には世界唯一の硝石層を藏し、且世界一のチキカマタ (Chugucamata) 銅山がある外硫黄及び金等を産出する。

(二)、中北部地方 南緯二十七度より三十二度に至る。當地方は砂地帯であるが、灌漑により開發された土地あり特にロキンボ (Coquimbo) の南方に於て著しい。智利第三のポトレリリス (Potrerillos) 銅山並にエル・トフ (El Tofa) 鐵山がある。當地方は銅、鐵、金、銀及び硫黄等各種の鑛物を産出する高度な鑛業地帯であつて、南部に於て急激に人口稠密になつてゐる。

(三)、中部地方 南緯三十二度より三十七度半に至る。數多の河川に潤はされた豐沃な中部溪谷の北半を含むが、約半年に亘る乾季には極南の一部を除き灌漑を必要とする。首府サンティアゴ、ヴァルパライソ、コンセプシオン等の重要都市を包含する當國中最も人口稠密の地帯である。農牧業を主要産業とするが、當國第二のシウール (Sewell) 銅山及びコンセプシオンの炭坑も當地方にある。

(四)、中南部地方 南緯三十七度半より四十一度半に至る。中部地方に次いで農牧業が盛んで、人口の密度も之に次ぐ。東方アンデス山系にかけて重要な森林地帯があり、有名な湖沼地帯並に鱒で名高い河川も當地方にある。鑛業は不振である。雨量豊富。

(五)、南部地方 南緯四十一度半より五十六度に至る。中央溪谷は途切れて海岸山脈は長蛇の列島を形成し南端ホーン岬に達してゐる。太平洋岸は人口極めて稀薄で鬱積たる森林地帯を現出し、豪雨、暴風雨及び霧が多い。極南地方のフォルド及び氷河は諸威のそれに比敵するといはれる。大西洋岸のウルティマ・エスペランサ (Ultima Esperanza) マガリタネス (Magallanes) 及びティエラ・デル・フエゴ (Tierra del Fuego) 等の諸州には大平原が展開し、約二百五十萬頭の羊が飼育されてゐる。

河川及び湖沼 智利の諸河川中航行可能な部分は千二百二十哩に達し内四百五十哩には吃水の浅い汽船が通じる。而して主要河川はマウレ (Maule)、ビオ・ビオ (Bio-Bio)、インペリアル (Imperial)、ヴァルディビア (Valdivia) ブエノ (Buena)、マウリン (Maulin)、パレナ (Palena)、アイセン (Aysen) 等であつて、其他數多の河川は筏を流すのに利用される。次に主要湖沼はヴィリリカ (Villarica)、カラフケン (Calafquen)、パンギプリ (Panguipulli)、リニウエ (Rinlue)、ランコ (Ranco)、プエウ (Puehue)、ルパンコ (Rupanco)、ランキウ (Llanquihue)、トドス・サントス (Todos los Santos) 及びブエノスアイレス (Buenos Aires) 等であつて、南部の湖沼地帯は年々觀光客の跡を絶たなき。

氣候 智利の氣候はホーン岬からグアキル湖に至る太平洋岸を洗ふフンボルト寒流の影響を受けることが極めて大である。同寒流の影響と風位の關係に依り熱帶圏内にあるアリカと、殆ど南極圏に近いマガリタネス地方との平均

温度の差が比較的少い理由が説明されるのである。智利では到る處夜は冷しいか寒い程で、ヴァルディヴィア以南では日中に於ても寒冷である。サンティアゴを含む細長い平野の北部地方にあつては、冬寒く、春秋は冷く、夏は一部隔絶した谿谷地帯を除き、温暖であるが暑くはない。北部パンパス地帯では日中は往々暑い、夜は常に涼しい。雨量は地方に依り異り、北部地方は殆ど降雨を見ないが、南下するに従ひ漸次増加し、マガリャネス州西部の如きは温带地方中の最多雨地である。

二、主要經濟情況（産業）

一九三〇年の調査に依れば、智利國民の職業別人口割合は下記の通りである。農業及漁業三七・八%、工業二二・一%、商業一一・〇%、鑛業五・八%、官公吏五・三%、其他一八・〇%。鑛業に従事する者の割合は比較的少いが、智利の經濟は銅及硝石の兩鑛業に依存する所が多い。一九三一年頃以來農業及製造工業は純國內經濟の主要支柱となつて來てゐる。今當國の主要産業に就き略述すれば左の通りである。

鑛業 鑛産物は智利の輸出總額の七五乃至八〇%を占め、且輸入物資買付爲替の四五乃至五五%に相當する資金を産み出す。北部地方は全く鑛業に依存し、農工必需物資は中部乃至南部からの供給に俟つが、その經濟的勢力は全智利に及んでゐる。鑛業及其關係産業に従事する労働者の數は約六萬四千人と謂はれる。

（銅） 智利は銅の世界的産出國である。而して總産額の九割五分迄はチキカマタ、ポトレリリ、ス及シーウールの三銅山から産出する。最近に於ける産額を示せば、一九二九年三〇三、二〇〇噸、一九三四年二四七、七〇〇噸、一九三五年二五九、九〇〇噸、一九三六年二四五、三〇〇噸、一九三七年（推算）三九〇、〇〇〇噸であつて、國內銅山の總産出能力は五十萬噸と見積られてゐる。銅産業に従事する労働者は約一萬九千人と謂はれる。

（硝石） 北部のアンデス山系と海岸山脈の間に横る、海拔四千呎乃至七千五百呎の沙漠地帯が硝石の産地である。前世紀の未頃智利は世界全體の窒素需要量を供給してゐたが、漸次下り坂となり、一九三六年に於ては約十二分の一に減少した。一九三四年硝石産業の改組が行はれ、硝石及沃度販賣組合が結成されてから本産業は漸次安定を取戻した。マリア・エレナ (Maria Elena) 及ペドロ・バルディヴィア (Pedro de Valdivia) の兩地に二大工場がある外約二十數個の硝石工場を有し、一九三六年には一、三二〇、一七六噸を産出した。一九三七年十月に於ける硝石工業の従業員は約二萬三千四百人である。

（鐵） 鐵の鑛脈は國內到る處にあると言はれてゐるが、現在作業中のものはエル・トフにある鑛山のみである。一九三六年に於ける産鐵量は一、三三三、七〇五噸である。

（金） 産金額は智利の通貨と密接な關係にある。一九三〇年の産額は六四二噸であつたが、一九三五年には八、二七二噸に翌一九三六年には七、九九九噸に激増した。不況のどん底時代には三萬一千五百の労働者が砂金採取に従事したが、一九三七年に於ける労働者は一萬四千に減少した。

（石炭） 石炭の産出地帯はコンセプシオン地方に集中してゐるが、マガリャネス、ヴァルディヴィアの兩州にも小炭

坑がある。コロネル (Coronel) 及ロタ (Lota) の兩炭坑が最も重要である。一九三五年の産出量は約百九十萬噸に達し、當國石炭界のレコードである。

(其他の鑛産物) 銀(一九三六年の産額は四四、五二一噸)、滿銻、鉛、亞鉛、水銀、モリブデン、コバルト、硫黃(年産約二萬噸)、鹽、礬砂、石膏等があり、又硝石工業の副産物である沃土の産額は世界第一位を占め、一九三六年には六十二萬噸に達した。グアノ鳥糞石も重要産物の一で、一九三六年の産額は七九、三〇〇噸に上つてゐる。

農業 智利住民の四十一%は農業に従事し、勤勞所得者の三七・八%は農業であるから、之等兩觀點よりするも農業は智利の最重要産業である。一九三〇年の調査に依れば智利の地所數一四六、二四四件、その面積二七、三、一三、〇四三ヘクターの中四%、中央部の十四%が可耕地と見積られてゐる。農産物の大部分は中部並に中南部より産出する。

(主要農産物) 一九三三―三四年より一九三六―三七年に至る平均産額は下の如くである。即ち小麦八十五萬七千噸、大麦十萬八千噸、燕麥九萬五千噸、豆類八萬二千噸、玉蜀黍六萬四千噸、馬鈴薯四十六萬三千噸、豌豆二萬六千噸、扁豆二萬二千四百噸である。之を約十年前の收穫に比較すると總じて非常な増收となつて居り、唯重要穀類中僅に小麦のみは十二%強の減收を示して居る。鮮乾果實類の輸出は當國重要輸出品の一となるに至り、一九三六年に於ける輸出は百萬弗以上に達してゐる。葡萄酒醸造も重要産業の一である。

(畜産) 一九三六年の調査によれば、當國家畜類の數は下記の通りである。畜牛二百五十七萬三千頭、羊五百六十

五萬四千頭、山羊八十一萬餘頭、豚五十七萬一千頭、馬五十二萬八千頭、驢馬五萬二千頭、騾馬四萬一千頭。羊毛は智利の重要輸出品の一であつて、マガリヤネス州はその七割乃至七割五分を産出する。羊は主としてアイセン州に飼育される外中央谿谷からも相當量の羊毛を産出し、全産額は約二千八百萬封度と謂はれる。マガリヤネス州には冷凍肉工場が五あり、一九三七年の冷凍羊肉輸出は一、〇七七、六四一胴體に止つてゐる。

(林産) 一九三六―三七年に於ける製材所數は五〇六に達し、その産額一億五千五百萬立方呎に上つてゐる。之を類別すればロブレ四千萬立方呎(單位以下之に準ず)、ラウリ三千百萬、月桂樹三千百萬、コイグエキ二百萬、松柏類千二百萬、アラモ四百萬、オルピリオ七百萬、ウルモ三百萬、リンダ五百萬、マニオ百萬、ユーカリ樹百萬、テーパー三百萬、バタグア二百萬の外百萬立方呎以下のものにはティネオ、カネオ、アレルセ等がある。尙アルガロピリヤ (Algarrobo) 及びキライ規那皮 (Quilay) は重要輸出品となつてゐる。

工業 一九二〇年代より政府は工業の振興に銳意力を致し、一九二九年の世界的不況前に於ても工業の發展は既に顯著なるものがあつた。夫れ以來通貨下落の影響は保護關稅政策と相俟つて工業の發達に拍車をかけた。一九三〇年國勢調査の結果に依れば勤勞所得階級の二二・一%は工業従事者となつて居るが、現在に於ては恐らく三〇%に達してゐるであらう。一九三七年に於ては毛織物、藥品類、化粧品、靴、皮革製品、紙類(新聞用紙を除く)、爆藥類、セメント、硝子製品、煙草など木製品の國內需要は既に自給状態にあつた。加ふるに塗料、綿織物、工業用化學製品は夫々需要の八十、五十、及び二十五%を自國で生産してゐる。右の外製造工業としては鐵鋼製品、飲料、食用油、

衣類、絹織物、莫大小、ボール紙、菓子、食料品、陶器、エナメル器、衛生用器具、網索類、建築用品、精糖、製粉印刷等を擧げることが出来る。

三、交通及通信

鐵道 智利に於ける鐵道の總延長は五、四三四哩（八、七四五杆）であるが、内三、六三七哩（五、八五三杆）は官營に屬してゐる。國內の主要線路はイキケからプエルト・モントに通ずる鐵道で、支線が各地に延びてゐる。大陸横斷鐵道には左の如きものがある。アリカよりラ・パス及プエノス・アイレスに至る線、アントファガスタよりポリヴィア國ウニニ經由プエノス・アイレスに至る線、ヴァルパライソよりメンドサ經由プエノス・アイレスに至る線及びサンティアゴよりオソルノ、バリロチ、經由（一部分は湖上汽船及自動車を利用する）プエノス・アイレスに至る線等がある。

航空 (一) サンティアゴ、プエノス・アイレス間にはパナグラ (Panagra)、エール・フランス (Air France) 及コンドル (Condor) の三社線がある。(二) サンティアゴより北方ベルー、ポリヴィア等へはパナグラ社線。(三) サンティアゴ、アリカ間及其の中間地點を結ぶものにナシオナル社線 (L. A. N. = Lineas Aéreas Nacionales) があり同社は、(四) サンティアゴよりプエルト・モント及マガリャネス間に當國空軍と共同で航空事業を經營してゐる。サンティアゴ以南の空路は未だ試験的段階にあり、目下斷續的飛行が行はれてゐる。尙國際空路は會社側が發行する國際航空切符

を所持する旅客に限り運輸を取扱ふ。

自動車道路 ハイウェイの延長は二六、七九五哩（四三、一二四杆）に達するが、内八、七七八哩（一四、一二八杆）は砂利敷道路である。

郵便 内國郵便中書狀は同一州内に於ては二十瓦に付二十仙、州外では三十仙、印刷物は五十瓦毎に十仙、業務用見本は五十瓦毎に四十仙である。外國郵便中汎米郵便聯合に加盟してゐる諸國宛の書狀は内國郵便同様二十瓦毎に三十仙である。飛行郵便の利用は近年激増したがその料金は重量と宛先に依り異なる。

電信 官營電信は國內各地に通ずる外、商業電信會社 (Telegrafo Comercial) も國內主要地に電信局を有してゐる。

無線電信 國際無線電信電話會社 (Compania Internacional de Radios) は國際電話並にサンティアゴ、アントファガスタ間及サンティアゴ、マガリャネス間無線通信を取扱つてゐる。外にトランスラディオ會社 (Transradio Chilena) 社も無線電信業務に當つてゐる。

電話 智利の各都市には皆電話があるが、サンティアゴ、ヴァルパライソ及ヴィニャ・デル・マルの三市には自動式

が敷かれてゐる。

海底電線 オール・アメリカ電信會社及アメリカ西岸電信會社の兩社は國內主要都市に電信局を有し、外國との有線電信を取扱つてゐる。

四、到着直後の諸手續

一、商業見本及廣告

(有價見本) 商業價格を有する商品見本は保證を與へて(ボンドを入れて)六ヶ月間の期間内に於て輸入を許可されるが、税關委員會(Junta General de Aduanas)の證認を経て期限を延長することが出来る。ボンドの積立は通關代理業者若くは信用ある商人に爲さしめるか、然らざれば輸入税相當額を預け入れて、再輸出後にその返戻を受けるとも出来る。再輸出は必ずしも輸入港と同一港よりすることを要しない。又見本は全部若くは一部賣却してもよいことになつてゐる。再輸出許可の取付は見本が出國する地點の税關に於て爲すを要し、同地に於て再び荷物の検査があり、賣却商品に對しては輸入税が賦課され、殘部に對する保證の解除乃至税金積立金の返戻が行はれる。見本の再輸出を證明する爲には、積荷の荷揚地を明示し、税關の證明を有する船荷證券を提示する要がある。

(無價格見本) 此の場合には税番一九二七番に基き、總量一疋に付金貨三仙(紙幣の十二仙、米價の〇・〇〇四八仙に相當す)の名目的輸入税を課せられる。規則に依り見本は商業價格を有しないことを實證する爲毀損すべきことになつてゐる。

(型録類) 總量一疋に付金貨一仙の輸入税を、又カレンダー、フォルダー、廣告用冊子、アルマナック類は金貨四ペソ五十仙(紙幣ペソの十八ペソ、米貨約七十二仙)を課せられる。

二、通關手續

荷物の個數、内容、原産地其他を記載した輸入申告書を提示する必要があるが、書式は積出港にある智利領事館で入手出来る。右に對しては印紙税の支拂を要する。

手荷物及見本の検査は通常遅れ勝であるが、特に見本は二、三日かゝるのが常であるから、多量の見本を携行する場合には通關業者の手を経る方が便利である。

身廻品中使用済のものは無税であるが、新品に付ては、金貨五百ペソ以上と評價される場合には輸入税を課する五百ペソの免税點を超過し、更に輸入税が三百ペソ以上に上るときは通關業者の手を経る要がある。尤も旅客が現場で税金を支拂ふ場合はその限りでない。

五、包 裝

二、三の例外を除き智利の港に於ては船舶は港内に投錨し、貨物を岸に卸すのを例とするから、輸入商品は屢々手難な取扱を受ける。従つて包装には充分注意を要し、外装物は極めて良質のものを使用すべきであるが、餘り重いものは避けた方がよい。現地の輸入業者から與へられる包装上の指圖は之を尊重すると共に、盜難に對する保険をつけるべきである。

(ディレクトリー) 現在智利では廣汎な範圍に亘る一般的ディレクトリーは發行されてゐない。智利電話會社(C. Compañía de Teléfonos de Chile, San Martín 50, Santiago)は定期的に加入者の電話帳を發行するが、同帳にはサンチャゴ、ヴァルパライソを始め南北兩地方も含まれてゐる。一部は四冊の分冊に分れ、定價二十四ペソ、上記電話會社で入手出来る。工業振興協會(Sociedad de Fomento Fabril, Calle Moncada 759, Santiago)に於ては製造工業者の名簿を發行するが、最新版は一九三五年版、價格十ペソである。又最近智利外務、商務省では輸出入業者の案内を發行した。

五、販 賣 區 域

智利は縦の長さが横の幅の二十六倍もある細長い國であるから、販路擴充には充分研究を要する。各種の商品に通ずる一般的原則は設け難いが、海上運賃と荷揚げ後の陸上諸掛の關係並に地方別需要の多寡の二が最も重大な事項であ

る。又同類商品間の競争程度及利益の割合も考慮すべき點である。輕量でこぢんまりした比較的高價な商品の場合にはアントファガスタ、サンティアゴ及ヴァルパライソ、時に依りコンセプシオン、ヴァルディヴィア及マガリアネスを加へた諸中心地にストックを置いて能率的な販賣を行ふことが出来る。又運賃が重要な素因となり、國內を通じて需要がある場合には分配中心地の數を増す必要があることを俟たぬ。

左に掲げるのは智利の一有力商社が國內に有する支店網とその活動狀況の概要である。(尙各地の詳細に亘る説明は本篇「都市」の欄を参照されたい)

ア リ カ 同地方並にペルー國タクナ地方を包含するが、餘り重要な地域ではない。此の地方はアントファガスタを中心として活動することも出来る。

イ キ ケ ビサグアから南方ラグナスに至る地方を管轄とするが、當地方もアリカ地方同様左程重要でなく、アントファガスタから手を延ぶることが出来る。

ア ン ト フ ア ガ ス タ タコピリアからタルタルを含む地方を含み、之等兩地に出張所を置く。多くの商社は當地の支店をして北部智利全部を受持たせてゐる。

コキンボ、フエロ・ウンギ、ブード (Pueblo Hundido)、(チャキナラル Chacaral 港の内陸地方) からイリヤヘル (Illapel) に至る地方を受持區域とし、コピボ (Copiapo)、ヴァリナール (Valleparaiso)、ラ・セーナ (La Serena)、オヴァリャ (Ovalle) 等を包含する。商社に依つては當地方はヴァルパライソの支店に受持させるものもある。

ヴァルパライソ 地理的及運輸上の關係でヴァルパライソ、アコンカグア及奥地のロス・アンデスの各州を受持區域とする。

サンティアゴ 北はチルチル (Tiltil)、地方から南はモリナ (Molina) 方面迄を擔當し、メリビリャ (Melipilla)、サン・アントニオ (San Antonio)、サン・ベルナルド (San Bernardo)、ラングア (Rangua)、ラング (Rango)、サン・フェルナンド (San Fernando) 及クリコ (Curico) 等の各地を包含する。場合に依つてはサンティアゴのストックは更に廣汎な範圍に亘り供給に當てることが多々ある。

コンセプシオン 北はタルカ (Talca) より南はピトルフケン (Pitrufquen) に至る地域を受持ち、タルカ、チリエン ((hillan) 及テムコ (Temuco) に代理店を置く。商社に依つては南部智利全部を當地支店に委ねる。

ヴァルデ・ヴィア ビトルフケンからプエルト・アイセン (Puerto Aysen) に至る地域を擔當させ、オソルノ (Osorno)

プノ) 及プエルト・モント (Puerto Montt) に代理店を置く。管轄區域中にチロエ (Chiloé) 島、アンタ・ド (Aneud) 及カストロ (Castro) の兩地を含む。

プンタ・アレナス マガリネアス州を擔當し、ティエラ・デル・フエゴ島のボルヴェネル (Porvenir) 及プエルト・ナタレス (Puerto Natales) を含む。當地は地理的關係上單に智利の一販賣地域と言ふ丈でなく、別個の市場を形成してゐる。

(代理店問題) 商品賣捌の問題は代理店設置の見地からも考慮しなくてはならぬ。智利の有力商社は概ねサンティアゴ若しくはヴァルパライソに本店を有し、イキケ、アントファガスタ、コンセプシオン若しくはヴァルデ・ヴィア等に支店を設置して居るから、若し斯る商社を總代理店に任命する場合は賣捌の問題は自動的に解決されるわけである。又若し一の代理店をして智利全國を受持たせるとすれば、同店は各地の獨立輸入商に對し賣付を擔當するのであらう。然し乍ら輸出業者側に於てその旅商をして有力商社と個別に直接交渉を行はしめんとする場合には以下に記す様な方針に依るのが便利だと思考する。

(智利國內商用旅行手引) 智利に行く旅商は殆ど皆サンティアゴを先にするのが常である。旅商が各地の輸入商を親しく訪問する爲、智利の旅を北から始めやうとするのは餘り實際的でないが、強て右経路に依るとするも、アリカ、イキケ、アントファガスタ、コキンボ及ヴァルパライソの諸都市以外は必要でない。サンティアゴを済ました後、コンセプシオン、テムコ、ヴァルデ・ヴィア、オソルノ及プエルト・モントの各地を巡回すべきであらう。プンタ・アレナ

スは時間の關係で殆ど行く者はない。

(一) サンティアゴ以北 汽船便のある限り海上旅行をお奨めする。汽車旅行は遅くて、暑く塵っぽい上に運轉回数が少ない。チキカマタ、マリア・エレナ、ベドロ・デ・ヴァルデイヴィア及トコピリヤに行くにはアントフ・ガスタから自動車に依るのが便利である。エル・トフ・へは鐵道の便がないから是非とも自動車で行かねばならぬ。要之北部智利の諸都市に行く必要がある旅商は汽車の時間表を左程氣にすることはない。同方面は貨客混合列車、及沿岸航路の汽船便又はナショナル航空會社の飛行機を利用出来る。

(二) サンティアゴ及ヴァルバライソ以南 南部地方の鐵道は北部が狹軌であるに反し廣軌で速力も大であり、且運轉回数も頻繁である外寢臺車、食堂車のサーヴィスも良好であるから汽車旅行をお奨めする。國營鐵道の南部線の終點である。プエルト・モント以南の旅行は汽船を利用する。ヴァルバライソ、サンティアゴ間及タルカウアノ、コンセプション間を除き自動車旅行をする者は極めて稀である。

(三) 大陸横斷旅行 アリカ及アントフ・ガスタからプエノス・アイレスに至る鐵道は、長距離で且難澁な旅であるから、ボリヴィアに行く必要がある場合を除き殆ど右經路を取らない。ヴァルバライソ若くはサンティアゴからプエノス・アイレスに至る横斷鐵道は、冬季降雪多量の爲不通になることがある。賃金は智利側同國貨三二一ペソ、アルヘ

ンティアナ側亞國貨一四三ペソ五〇仙で、寢臺、食事及五十疋迄の手荷物の無料輸送を含んで居る。所要時間は二晝夜である。サンティアゴからプエノス・アイレスに至るオソルノ、バリロチ(亞國側)、パイア・プランカ經由他の一線があり、沿線には風光明媚な所が多いが、オソルノ、バリロチ間は自動車及湖上汽船の連絡を要し、全旅程は五日乃至六日に亘る長旅である。本經路に依る運賃は食事代、宿泊料を合算し智利側五四一ペソ、亞國側一九七ペソである。右旅行は十月より四月に至る七ヶ月間が適當で、就中十二月から三月の夏期に於て最も快適である。

サンティアゴ、プエノス・アイレス間の旅行で最も迅速且安全なのはバナグラ社の飛行機旅行であつて、所要時間僅かに五時間半一週五回往復する。

六、其他の參考事項

旅行最適時期 智利は赤道の南に位するので四季の順は北半球と正反對である。十月より四月に至る春夏の兩期は當國產業界が最も活氣を呈する時期であつて、硝石の積出、各種農産物の收穫、羊の剪毛及羊肉の冷凍等は皆此の期間に行はれる。硝石及銅の生産は殆ど一年を通じて行はれ、勞銀の支拂も比較的季節に左右されない。従つて旅商は右の如き季節的關係を考慮に置き、當該營業に最も適當と認められる時期を選んで智利に赴くべきである。

服裝 夏季日中には薄手の胴衣披きの上下背廣が恰好だが、その他の季節には合着の毛織背廣三揃がよい。約半年

の間は日中も外套が必要であり、夜間は殆ど年中を通じ外套があつた方が好都合である。海岸では四季を通じ氣候は寒冷である。

ホテル ヴアルパライソ、サンティアゴ、コンセプシオン及オソルノ等の各都市及ヴィニャ・デル・マル (Viña del Mar)、ハウエル (Hualde)、プコン (Pucón)、プエルト・ヴァラス (Puerto Varas) 等の遊覽地には設備良好なホテルがある。サンティアゴ及ヴァルパライソ以南のホテルは旅行季節である十二月乃至三月の候には豫め室の豫約をして置くべきである。前記以外の都市や町のホテルの設備は餘り上等とは言へない。

休祭日 羅馬カトリック教國であるから舊教の祝祭日は嚴格に遵守される。公式に認められてゐる休祭日には業務を休止するのを例とするが、内地の小町村では商人は却て之等の日を利用して商取引を行ふ。

當國の主要休祭日は下記の通りである。一月一日、耶蘇受難日、復活祭前週の土曜日、キリスト昇天日 (復活祭後四十日目)、五月一日 (労働祭)、五月二十一日 (イキケ戦争記念日)、聖體節 (Corpus Christi)、六月二十九日 (聖ペドロ聖パブロ祭日)、八月十五日 (聖母昇天祭)、九月十八日 (獨立祭)、九月十九日 (陸海軍戦勝記念日)、十月十二日 (民族祭)、十一月一日 (全聖徒祭)、十二月八日 (無垢懐胎祭)、十二月二十五日 (クリスマス祭日)。尙大統領の選挙日は休日であり、土曜日は一般に半休である。

營業時間 他の多くのラテンアメリカ諸國に於けると同様、智利の商社、商店等の營業時間は米國の夫に比較して一般に幾分長い。小賣商は普通午前九時に開店し、午後七時乃至七時半に閉店する。然し小都市では右よりも晚く九時頃迄營業する店もある。サンティアゴ、ヴァルパライソ等の大都市では、大商店は殆ど總て正午から二時乃至二時半迄閉扉する。又卸商及小賣商でも大商店になると土曜日は午後一時に店を閉める。

七、通貨及外國爲替

智利の貨幣單位は純分〇・一八三〇五七五を含む金貨ペソ (Peso oro) であつて、元の米貨の〇・二二一七弗に、一九三七年基準の〇・二〇六一弗と等價である。同貨は往々「六ペンス・ペソ」と呼ばれるが、右は英國の金本位制廢止前一ペソが英貨の六片に相當してゐたからである。一九三一年當國は金本位制を廢止し、爾來紙幣ペソの對外爲替相場は變動が多かつたが、一九三八年二月に於ける自由相場は智貨一ペソに村米價約四仙の割合であつた。輸出先貿易統計關稅其他の課稅等に関しては金本位制廢止後も依然として前記貨幣單位が使用されてゐる。

八、主要商業中心地

智利の主要商業中心地をその重要性の順に列擧すれば、サンティアゴ、ヴァルパライソ、コンセプシオン、アント

フアガスタ、プンタ・アレナス、ヴァルディヴィア、イキケ、コキンボ、テムコ、オソルノ等である。以下之等諸地の個々に就き説明を加へる。

アントフアガスタ (Antofagasta) 同名州々廳所在地。人口五三、五九一、入港船舶は海岸から數百碼沖に碇泊し、舛で上陸する。海路アリカ港の南三二六哩、イキケ港の南二二二哩、ヴァルパライソの北方五七一哩の距離にある。鐵路サンティアゴより一〇二三哩、ボリヴィアの首府ラ・パスより七二九哩を距ててゐる。グレース・ライン、南米汽船會社 (Compañía Sudamericana de Vapores) 其他の船舶が入港する外、當地はアントフアガスタ・ボリヴィア鐵道の起點であり、更にアリカ、イキケ、サンティアゴ、ラ・パス等との間に飛行機の便がある。

(ホテル) ペンシオン・ブレナ (Pensión Alemana) マンレス (Londres) マウリー (Maury) 等のホテルがある。

(銀行) 倫敦南米銀行 (Banco Londres y América del Sud) 智利銀行 (Banco de Chile) 獨逸大西洋銀行 (Banco Alemán Transatlántico) 貯蓄銀行 (Caja Nacional de Ahorros) 智利中央銀行 (Banco Central de Chile) タマデイト・ポプラー銀行 (Caja de Crédito Popular) 鑛工勸業銀行 (Instituto de Fomento Minero e Industrial) 等がある。

アントフアガスタは北部智利に於ける最も重要な商業中心地であつて、背後の鑛山地帯及東南ボリヴィアの一部に對する物資供給の基地である。従つて當地へ旅商は是非とも立寄るべき地であり、又アタカマ及タラパカの兩州は當地

を中心として活動すべきである。

アントフアガスタ州の殆ど全部は鑛業地帯で、農業に充てられてゐる土地は皆無に近い。ペドロ・デ・ヴァルディヴィア及マリア・エレナの二大硝石工場を始め、沃度工場、銅山、硫黄製鍊所、金山等の重要鑛業が行はれる。州全體の人口は約十二萬五千人で、中部乃至南部智利に比較して勞銀が高い關係上、同州は國內全體に於て最高消費力を持つ地方の一であり、硝石及銅等の鑛業會社の輸入は相當重要である。アントフアガスタ市にはガス、製鍊、醸造、酸素、石鹼、スパゲッティ、蠟燭等の工業が行はれる。同港は輸出に於ては智利第一位(銅、硫黄及硝石)、輸入に於て第三位を占める重要貿易港であると共に、ボリヴィアの貿易中、輸入の三分の一、輸出の三分の二に近い額が同港を通じて行はれる。

アリカ (Arica) タラカパ (Tarapacá) 州にある。人口一三、一四〇。入港船舶は海岸から約半哩の沖合に碇泊し、上陸は舛に依る。海路ヴァルパライソの北八八五哩、ペルー國モリョンドの南一三二哩の距離にあり、鐵道でラパス(二八五哩(十七時間を要す))、タクナ(秘露)へ四〇哩を距てる。

グレース・ラインの南航船及南米汽船會社船は南北航共夫々毎週寄港する。又米國パナグラ及智利ナシオナル兩社の飛行機が立寄る。

(ホテル) パシフィック (Pacific) 及パレス (Palace)。

(銀行) 智利銀行、貯蓄銀行及農業信用銀行 (Caja de Crédito Agrario) の三銀行がある。

アフリカの重要性はボリヴィアの貿易の通過港である點に存する。即ち同國輸入の約三割、輸出の一割五分は當港を通過して行はれるのである。智利の貿易港としては左程重要ではないが、硫黄、リヤマ、アルパカ等の毛及オリブ等を輸出し、當方面（リヌタ Linares 及アサバ Azapa 等の豊かな穀谷地帯を含む）で消費される各種商品を輸入する。アフリカには紡績、羊毛包装、スベダッティ等の工場がある。輸入商社数は全市で四軒を數ふるのみである。

チリ、ン（Chilán）ニーマン（Nuble）州の州廳所在地。人口約四萬。國營南部鐵道に沿ひコンセプションからトメ經由九一哩、サンティアゴから約二百五十哩、レシントへ向ふ鐵道の分岐點である。ニープレ州は果物、小麥、羊毛其他の農産物を産出し、チリ、ンには製靴、製革、製粉、製材、アルコール製造工場等があるが、外國商社の旅商は殆ど來訪しない。

コンセプション（Concepcion）ピオビオ河口より六哩、人口約八萬を有し、同名州の州廳所在地である。外港タルカウアノとは九哩を距て、兩地間には鐵道、電車、バスの便がある。首府サンティアゴより三五四哩、鐵道で一夜を要す。

（銀行）倫敦及南米銀行、スペイン・チリ銀行、コンセプション銀行、智利銀行、智利中央銀行、獨逸大西洋銀行、貯蓄銀行、農業信用銀行等がある。

（ホテル）リッツ（Ritz）、セシル（Cecil）の兩ホテルがあり、兩者共設備良好である。

當國重要商業中心地第三位に位し、北はタルカより南ピトルフケンに至る地方をその勢力圏とする。當地は中南部智利に於ける副代理店指定の點から見て重要な地位を占める。尤もヴァルパライソ乃至サンティアゴに本店を有する商社で當地に支店を有するものは三十有餘社に達し、之等商社との了解によつては前記地方を自動的にカヴァーすることも出来る。當地の有力商社中には金物商四、一般商品取扱商二、雜貨商六を擧げることが出来る。

（當地方を中心とする工業）コンセプションを中心とする工業地帯には羊毛工場八、炭坑四、製粉工場五、皮革工場五、製鍊場八、製菓工場四、製罐工場（水産物）三、スベダッティ三、石鹼三、醸造二の外綿紡績、硝子、製糖、硝子器等の各種工場がある。尙「コ」市には陶磁器、衛生器具、燻類、肥料、建築材料、紙袋、藥品、靴墨、塗料、蠟燭、葡萄酒等の製造工業が行はれる。

（市場の特性）當地方は智利に於ける各種豆類、小麥、燕麥の過半、豚の五五%、畜牛の四五%及び羊の二五%を産出する極めて重要な農牧地帯であるが、鑛業は僅に市の南部にある炭坑のみに限られてゐる。而して「コ」市を中心とする産業地帯の人口は百二十餘萬に達し、當國總人口の二割五分以上を占めてゐる。

コピポ（Copiapo）アタカマ州の州廳所在地で人口一〇、七四七。國營鐵道北部線に沿ひコキンポの北二五八哩の距離にあり、ナシオナル社の飛行機が發着する。十九世紀には智利最大の鑛業中心地の一であつたが、現世紀に入つてより聊か頹勢を示し、更に一九三〇年以來金、銀、銅の生産地として再びその勢力を挽回しつつある。當地には輸入業者乃至重要工業の見るべき物無く、商品の供給は主としてコキンポに仰いでゐる。

コキンボ (Cochinbo) 人口一七、二二一、同名州にある貿易港である。海路ヴァルパライソより二〇〇哩、アントファガスタより三九三哩を距て、鐵路サンティアゴより三五七哩、北部鐵道に沿ふてゐる。グレース・ライン及び南米汽船会社の船便がある外、ナショナル社の航空機が發着する。當港の主要輸出品は銅、山羊皮、乾果類、金、銀等で、北はコピアボから南はオヴァリ・に至る地帯に對する輸入は當港を通じて行はる。輸入商は數軒あるが外國旅商で當地を訪ふ者は稀である。有名なエル・トフ・の銅山は當地の近くにあり、州廳所在地であるラ・セレナ (La Serena) 市は當市の北八哩にあり、鐵道及自動車を通じてゐる。

(ホテル) パラセ (Palace) 及イングレス (Ingres) の二あり。

(銀行) ロンドン南米銀行、スペイン・智利銀行、貯蓄銀行の三がある。

イキケ (Iquique) タラバカ (Tarapaca) 州々廳所在地、人口四六、四五八。海路アフリカの南一〇八哩、アントファガスタの北三三六哩の地點にある北部智利の港市で、南米汽船会社の船が寄港する。サンティアゴからは鐵道で一、二三八哩を距て、ナショナル社の飛行機も通じてゐる。氣候温暖、年平均温度六十六度、一年を通じ降雨を見ること稀である。

當港は一時に比較すると活氣を失つたが、現在に於ても當國輸出港中第五位を占め、且當國第二の硝石會社である Cia. Salitrera de Tarapaca y Antofagasta がある。貿易商社は一般商品取扱商一、電氣機器輸入商一の外、首府及ヴ

アルパライソに本店を有する有力輸入商の支店が二つあるが、外國旅商のイキケ港を訪ねる者は近年稀である。
(銀行) 倫敦南米銀行、智利銀行、スペイン智利銀行、貯蓄銀行、智利中央銀行、タラバカ鑛工興業銀行等がある。

(ホテル) フェニックス (Phoenix)、シャラー・スイス (Chalet Suisse) の二がある。

オソルノ (Osorno) ヴアルデ・ヴィア州にあり、人口一六、二二九、ヴァルデ・ヴィア市より九一哩、首府より五九二哩を距て、國營鐵道に沿つてゐる。當市は一五五三年の建設に係る舊都であるにも係らず、市街はスペインのコロニアル式建築物より近代的建築物の方が多く、新興都市の氣宇が溢つてゐる。附近には獨逸系植民の農園が多く、又サンティアゴからフェノス・アイレスに至る湖沼地帯經由に依る旅行者の宿泊地となつてゐる。オソルノは貿易關係からはヴァルデ・ヴィアに依存してゐるが、直接輸入に携る商社も數社ある。

(ホテル) ブルニエ (Burnier)、オソルノ (Osorno) の二あり。

(銀行) 智利銀行、オソルノ・ラ・ウニオン銀行 (Banco de Osorno y la Unión)、貯蓄銀行、スペイン・智利銀行、農業信用銀行等がある。

フェルト・モント (Puerto Montt) 南部智利レンカヴィ (Reloncavi) 灣に臨み、リャンキウエ (Llanquihue) 州の州廳所在地、人口一六、一五〇。國營鐵道南部線の終點で、首府サンティアゴを距ること六七一哩、一〇八〇軒、海

路ヴァル・パライスより九五八哩の距離にある。當市は智利國中最も風光明媚なチロエ海峡の中心地で、観光地として有名である。當地方の主要産業は農、林及水産業で、附近のカルブコ島(Calbuco)には海産物の罐詰工場がある。直輸入商が數軒あるが、當地はヴァルディヴィアの商圏内にあり、外國旅商はマガリャネス地方を巡廻する者の外、當地には餘り來訪しない。

(ホテル) ヘイン(Hein)・ミラン(Miramar) Sillaga。

(銀行) オソルノ・イ・ラ・ウニオン(Banco Osorno y La Union)銀行、リャンキウエ銀行、スペイン・智利銀行及貯蓄銀行がある。

プンタ・アレナス(Punta Arenas) 國の南端マガリャネス州の首都、同名の海峡に臨む港市でヴァル・パライスより海路一、六八八哩、ブエノス・アイレスより一、二九五哩の距離にある。人口約二萬五千。北部より當地に達するには普通南部鐵道でプエルト・モントに出で同地より汽船による。又ブエノス・アイレスからも船便がある外飛行機でリオ・ガリェゴスに至り同地より船便がある。

氣候は夏季に於ても冷涼で、冬季は寒冷であり、一年の中約百五十日は降雨がある。

(マガリャネス州) (ティエラ・デル・フエゴの智利側に屬する部分を含む) 同州の人口は約三萬五千に過ぎないが州内に約二百五十萬頭の羊が飼育され、年約二千二百萬封度に達する羊毛を産出し、智利の重要富源となつてゐる。その外石炭、砂金、毛皮、捕鯨、木材、養鶏、水産物罐詰等の産業が行はれる。而して同州はその地理的位置か

ら智利の他の部分との商業的關係は極めて薄く首府乃至ヴァル・パライスの商社との取引は稀である。

「プ」市には六十九軒の輸入業者があり、輸入商品に對する一人當りの需要は他地よりも遙かに高率である。當地への旅行は最少限度三週間の長日子を要するから當地方を旅程に入れるに先立ち充分研究を要する。

當港は智利貿易港中輸出に於ては第六位、輸入に於ては第五位を占め、羊毛、羊皮及び冷凍肉等を主要輸出品とし既製品、食料品、牧場用品等が主要輸入品である。尙當地への輸入品は大部分輸入税を免除されてゐるので、輸入品の種類は極めて多岐に亘つてゐる。

(銀行) 倫敦南米銀行、プンタ・アレナス銀行(Banco de Punta Arenas)、ナショナル貯蓄銀行、智利中央銀行及び農業信用銀行がある。

(ホテル) コスモス(Cosmos)、フランス(France)、トマカハ(Trocadero)等がある。

サンチアゴ(Santiago) 共和國首府であり、同名州の州廳所在地である。一九三七年の推定人口は八四二、五四〇で南米第四の大都會である。ヴァル・パライスより一一六哩、イキケより一、二三八哩、プエルト・モントより六七一哩、聖國ブエノス・アイレスより九〇一哩の距離にある。當地への交通を概説すれば、ヴァル・パライス港より急行列車及び自動車(兩者共三時間)便あり、南北智利及び亞國からは何れも鐵道及び飛行機が通じてゐる。

主要商社、金融業者、鑛・工業會社等は殆ど總て本店又は支店を有し、大商社は當地を中心として全國をキャンパスとするから外國旅商は須く當地を往訪すべきである。當地は又小賣業に於ても全國の中心をなし、小賣商中には直

輸入を併せ行ふ者も少くない。尤も國の極北及極南地方はサンティアゴの商圏外と見るべきであつて、特に運賃が高む商品の場合は、北チリチリより南クリコ乃至タルカに至る地方をその販賣區域とする。右地域は當國全面積の約五%に過ぎないが、人口に於ては總人口の約三分の一を擁してゐる。

而してこの地方は智利第一の農業地帯で、穀類、果實、蔬菜等を多量に産出し、畜牛、羊、酪農品等の牧畜業も亦盛である。次に工業は當國總生産高の約五割を占め、綿、絹織物、メリヤス、衣類、靴、鐵鋼製品、機械、金物類、化學製品、塗料、藥品、化粧品、電氣器具、紙及紙製品、硝子及硝子器、飲食品、建築用品、家具、煙草、皮革製品等の製造が行はれる。

サンティアゴは南米に於ける最も近代的な都會の一であつて、高層建築物も少なく、街路整然とし至る所に小綺麗な公園、廣場等があり、中心地區には華麗な大商店櫛比し、瀟洒な住宅地と相俟つて歐米の近代的大都市によく匹敵する程である。

氣候は春秋の候は極めて快適であり夏も亦凌ぎやすく、冬は幾分寒いが最近暖房装置が普遍しつゝあるので意とすに足らぬ。

(銀行) 外國銀行には紐育ナショナル・シティ銀行、倫敦南米銀行、獨逸大西洋銀行、獨逸南米銀行、A・エドワーズ商會 (Banco A. Edwards y Cia.)、スペイン智利銀行 (Banco Español-Chileno)、佛伊南米銀行 (Banco Francés e Italiano para la America del Sud) 等の支店がある。内國銀行には智利銀行、智利中央銀行、ナショナル貯蓄銀行等の外勸業、農業、鑛、工業等各般の金融乃至信用機關として下記の如きものがある。Caja de Crédito Hipotecario,

Banco Hipotecario de Chile, Caja de Crédito Agrario, Caja de Colonización Agrícola, Caja de Crédito Minero, Instituto de Crédito Industrial, Caja de Crédito Popular, Caja de Habitación Popular, Caja Autónoma de la Amortización de la Deuda Pública, Caja de Seguro Obligatorio, Caja Reaseguradora de Chile

(ホテル) クリリオン (Crillon)、リズ (Riz)、スプレンド (Splendid)、サヴォイ (Savoy)、オド (Oddo)、ヴィクトリア (Victoria)、クラリヂ (Claridge)、グランド (Grand)、ビダール (Bidart)、マンディアル (Mundial) 等があり、料金は食事を除き一日最低二十ペソ以上八十ペソ内外迄である。

(市内の交通) 市内電車は料金二十仙、タキシードは一時間普通五十ペソであるが、市外に出る場合は豫め料金を決めておいた方がよす。

(旅行案内所) ワゴン・リ・クック (Wagon-Lits Cook)、ヴィリャロンガ (Villalonga)、エクスプリンター (Express Printer)。

タルカウアノ (Talcahuano) コンセプション州タルカウアノ灣に臨む智利第一の良港で人口約三萬。コンセプションより九哩、首府より鐵路三六三哩の距離にあり、ヴァルパライソ港よりは二三九哩を距て、グレイス・ラインその他の船便がある。而して當地はコンセプションの外港で、燕麥、各種豆類、木材、獸皮、羊毛、葡萄酒等の農林畜産の輸出港であると共に、輸入に於ては當國諸港中第二位にある。

テムコ (Temuco) カウチン (Cautin) 河に沿ひ、同名州の州廳所在地。人口約四萬を算し、農牧業の中心地である。國營鐵道南部線に沿ひサンティアゴの南四二九哩、ヴァルディヴィアの東北一〇七哩の距離にある。テムコは貿易上の見地から見てコンセプシオンの商圏内に屬するが、直輸入商が相當數ある爲外國旅商は時々當地を訪れる。

(ホテル) セントラル、コンティネンタル。

(銀行) 内國諸銀行の外獨逸大西洋銀行の支店がある。

トコピリ (Tocopilla) アントファガスタより海路北方百十哩を距てる港市で、人口約一萬五千を有し、マリファ、

エレナ及ペドロ・デ・ヴァルディヴィアの兩地に産出する硝石並に銅の輸出港として著名である。

(ホテル) ペラヨ (Pelayo) 及 에스パニール (Español)。

(銀行) ナシオナル貯蓄銀行。

ヴァルディヴィア (Valdivia) カリ・カリ河 (Rio Calle-Calle) の河口から九哩に位する同名州の州廳所在地で人口約三萬五千を有し、國內商業中心地中第六位、中南智利諸市中第二位を占める要邑である。首府から五三六哩を距て、南部鐵道に依り二十一時間を要し、又沿岸航路船で外港コラル (Corral) に下船し、舁で達することも出来る。當市は智利の全人口の二・五に當る約五十三萬の住民を抱擁する北ビトルフケンより南チロエ島に至る地域をその商圏とし、首府乃至ヴァルパライソに本店を有する十四商社が支店を設置してゐる外、直輸入商も數軒あり、營業種目

に依つては出張させる丈の價值がある。

當地方の主要産業は農牧業で、鑛業は餘り振はない。小麦、燕麥、大麦、馬鈴薯、林檎等が主要農産物で、畜牛、豚、羊等の飼育も盛である。工業に於ては國內第四位を占め、製靴、製鐵鋼、製革、製車、醸造、石鹼、製粉、製糖等の諸工場がある。

(ホテル) シュスター (Schuster)、パラーセ (Palace)、ハウスマン (Hausmann)、ブセニウス (Bussenius)、リス
n (Risco) 等がある。(因に當地方は水陸景勝の地で、觀光地としても名高し)。

(銀行) 智利中央銀行、オソルノ・イ・ラ・ウニオン銀行、獨逸大西洋銀行、智利銀行其他數行の支店がある。

ヴァルパライソ (Valparaiso) 同名州の州廳所在地、人口は郊外を合算して二十六萬餘に達し、當國第一の貿易港であると共に、第二の都會である。各地への距離は、首府へ鐵道で一一六哩、(鋪裝路は九一哩)、アrikaへ海路(以下準之) 八八五哩、ベルボアへ二、六二二哩、マガリアネスへ外洋廻り一、四三八哩を距てて居る。因みに日本郵船會社の南米西岸航路は當港を終點としてゐる。

當港は一時智利の商業上に於ける首府の地位を占めて居たことがあり、今猶當地に本店を有する老舗が多數あるが之等は漸次サンティアゴに移轉する傾向にある。ヴァルパライソ市の商圏は北コキンボから内陸はロス・アンデス地方に至る廣範圍に亘り、後者は國內でも最も肥沃な農業地帯の一であるアコンカグア谿谷を包含してゐる。運賃の點で難色がない限り、中部及南部智利への賣捌は當地を中心として行ふことが出来る。

當地域の北部地方は高度に鑛業化してゐるがアコンカグア地方は既述の通り豊沃な農耕地で、各種穀類、蔬菜、果實等を生産する。ヴァルパライソ市を中心として行はれる工業には織物（綿、毛及絹織工場あり）、精糖、塗料、棉實油、菓子類、製靴、製革、製藥、化粧品、化學製品、麥酒、食料品製造等がある。

貿易は、輸入に於ては第一位、輸出に於ては第四位を占め、主要輸出品は穀類、豆類、果實、罐詰、葡萄酒、羊毛皮革等である。

尙ヴァルパライソはメキンコ以南のラテン・アメリカ諸國中太平洋に面する最大港市で、港灣設備も良好であり、街路整然として居る外、風光明媚、氣候良好（年平均温度華氏五十九度）であつて、「南太平洋の眞珠」とさへ呼ばれる程である。

(ホテル) アスツル (Astur)・ロイヤル (Royal)・パリス (Paris)・バラセ (Palace)・レベル (Lebell)・リグリア (Liguria)・アドリア (Adria) 等があり、料金は食事附最低一日智貨十五ペソ以上百三十ペソ程度である。

(銀行) 内國諸銀行の外紐育ナショナル・シテ、銀行、倫敦南米銀行、伊太利銀行、佛伊南米銀行 (Banco Frances e Italiano para la America del Sud)・獨逸大西洋銀行、獨逸南米銀行 (Banco Germanico de la America del Sur) 等の外國諸銀行の支店がある。

(電信會社) 南米西岸電信會社 (West Coast of America Telegraph Co., Ltd. 英國系) 及び全米電信會社 (All America Cables Inc. 米國會社) の兩社が外國電報を取扱つてゐる。

(汽船會社) 當地に本社を有する智利の汽船會社並に其の經營航路の主なもの下記の通りである。

(一) Compañia Chilena de Navegación Oceánica 北はアフリカより沿岸各港に寄港シラ・プラタ河及伯國リオ・デ・ジャネイロに至る貨客船航路の外、ヘル、エクアドル、コロンビア、パナマを経て紐育及英國に至る航路を經營する。

(二) Compañia Sudamericana de Vapores (南米汽船會社) コラルーヴァルパライソ・グアヤキル間航路を經營し沿岸諸港にも寄港する。

(三) Sociedad Anónima Marítima Chilena ヴアルパライソ・アリカ間及沿岸諸港。

(四) Sociedad Anónima Comercial Braun y Blanchart アリカ、マガリヤ間三週一回及コロネル、アリカ間每週一回夫々貨客船を就航させる。

(五) Sociedad Marítima y Comercial (B. W. James y Cia.) タルカウアノ、イキケ間定期航路。

右の外既述の通り日本郵船、米國グレース・ライン、英國太平洋汽船、獨逸ハンブルグ・アメリカ汽船、和蘭ロイヤル汽船、諾威フレッド・ロールセン汽船其他歐米各國の汽船會社の支店若くは代理店があり、之等諸國の船舶が寄港する。

ヴィニャ・デル・マル (Viña del Mar)

ヴァルパライソを距る六哩の地點にある智利第一の觀光地で、ヴァルパライソ市との間に電車、汽車及びバスの便がある。人口約五萬を有し獨立の市であるが、事實上ヴァルパライソ市の一部分と看做すことが出来る。十二月より

二月に至る夏季の候には、首府を始め遠く亞國からも避暑客が蜂集し、商況股賑を極める。俱樂部、カシノ、ゴルフ場、プール、競馬場等の設備完備し、南米屈指の遊覽地である。オヒジンス (O Higgins)、プラヤ (Playa)、フランス、マリア・アントニエタ (Maria Antonieta)、アルカサル (Alcazar) 等のホテルがあり、料金は孰れもヴァルベライソより高率で、觀光季には更に割高になる。

エクアドル共和國 (Republica del Ecuador)

一、面積、地形及氣候

エクアドル國政府の推定によれば、同國の面積は二十七萬六千平方哩であるが、ペルーは右の内十二萬五千平方哩を自國の領土なりと主張してゐる。

地形 アンデス山系は五百哩に亘つて二條の併行山脈を形成し、連峰中には大陸最高に屬する高山がある。前記二條の山脈間の高原地帯は七千乃至九千呎の高度を保つてゐる。而して當國は地理的に左の三地域に大別することが出来る。即ち第一は約八十哩の幅を有する海岸低地の暑熱地帯で、その一部には熱帯の密林が繁茂してゐる。第二は海岸地帯の東方に横はるアンデス高原で中に幾多の高山が聳え、第三はオリエンテ即ち東部地方でアンデス山系より東部アマゾン河流域の平原に亘る森林地帯である。

河川 主要河川はグアヤス (Guayas)、ドゥレ (Dule)、ヴィンセス (Vinces)、ババホヨ (Babahoyo)、トリン。

マ (Marañón) 等である。之等河川中には水運の便あるもの多く、内陸地方の水運に多大の便益を與へてゐるが、就中グアヤス河はグアヤキルよりボデガス (Bodegas) に至る四十哩の間河川汽船が通じてゐる。又ザインセス河は約百五十哩の間航行の便があり、マラニオン河はその全河流に船を通ずる。

二、主要産業

農業 農業は當國の主要富源であり、主要産物はカカオ、珈琲、タグア (アイヴオリ・ナッツ)、果實、米、ゴム等である。就中カカオは當國の名産品であるが虫害の爲第一次歐洲大戰以後その産額が減少した。マナビ (Manabí)、グアヤス (Guayas)、エル・オロ (El Oro)、ロス・リオス (Los Rios) 等の地方を主要産地とし、一九三六年の輸出額は約三百萬弗に達してゐる。珈琲はカカオに次ぐ主要輸出品で、同年度の輸出額は百八十七萬弗に上つてゐる。バルサ材も近年重要輸出品の一到數へられるに至つた。

工業 當國で行はれる工業には次の如きものがある。(括弧内は工場數) 綿及毛織物 (一九)、靴 (三一比較的大なるもの)、セメント、製粉 (二八)、煙草 (一七)、製糖 (二三)、ラム酒及酒精飲料、パナマ帽子、石鹼 (二二)、蠟燭 (二二)、革皮 (八)、綱索類、燐寸、ガンリン精製等。トキリヤ (Toquilla) 帽子は輸出品中の重要品目となつてゐる。政府は酒精、香水、煙草、燐寸及鹽の生産並に販賣を統制して居り、他の工業は輸入税乃至其の他の制限に依

り保護を受けてゐる。

鑛業 産金は當國鑛業の大宗をなし、エル・オロ州サルマ (Zaruma) にあるポルトヴェロ (Portovelo) 金山が最も重要である他、エスメラルダス及オリエンテの兩州からも相當量の金を産出する。

石油はサンタ・エレナ (Santa Elena) 半島に湧出し八石油會社により採掘されて居り、第二の鑛産品である。前記半島及ガラパゴス群島には多量の鹽を埋藏し、其の他當國には銅、石炭、鐵、銀、マグネシウム、プラチナ等の鑛脈があるといはれてゐるが、未だ開發されるに至つてゐない。

三、交通及通信

海上交通 エクアドルの諸港に寄港する米國船は時偶來航する果實船を除き、殆どグレース・ラインの船である。右の他英、獨、蘭等の歐洲諸國の船もグアヤキルその他の當國港に寄港する。エスメラルダス (Esmeraldas)、バイヤ・デ・カラケス (Bahía de Caráquez)、マンタ (Manta) 等の小港に赴かんとする旅客は、南航の場合は船足の遅い歐洲船により、北航の場合はグレース・ラインの船 (復航にはグアヤキルには寄港しないのを例とする) によるのを便とする。

航空 パナグラ (Panagra-Pan American Grace Airways) 航空會社の飛行機は南北航共グアキルに立寄り、旅客並にエクスプレスの運輸を取扱つてゐる。同社の航空路は北はクリストバル經由で中米及北米の航空路と連絡し、南はブエノス・アイレスに於て汎米航空會社の南米東岸線と連絡してゐる。現在國內の諸都市間には飛行機の便がないが、グアキル、キート間の航空路開設問題は進捗してゐる。

内國交通 國內の鐵道沿長は七六一哩に達するが幹線鐵道はグアキルとキートを結ぶ鐵道である。海岸地方の交通は主として沿岸航路により行はれ、高原地帯にあつては相當良好な自動車路が主要地間を結びつけてゐる。

郵便 エクアドルは萬國郵便聯合、米洲及スペイン郵便聯合、汎米郵便聯合等に加盟してゐる。

米國との間には小包郵便に關する取極めがあり一封度米貨十四仙の割合で、四十四封度迄の小包を發受する事が出来る。小包郵便には總て税關申告書の添付を要し、價格四十弗以上のものに對しては、發送地駐在のエクアドル領事の査證を有する領事送状を必要とする。

前記パナグラ社の飛行機は國際飛行郵便を取扱ひ、第一種郵便物に對する料金は五瓦毎に一・四〇スケレである。

電信 國內電信線は延長三、七八五哩に達し、全國に一六八の電報局がある。料金は西語普通報宛名及署名を含み一語に付十仙、外國語普通報及西語至急報一語十五仙、暗號電報一語二十仙、西語以外の國語による至急報一語三十

仙である。尙外國電報はオール・アメリカ電信會社が取扱つてゐる。

四、入國手續其他

入國手續 エクアドル國に入國せんとするものは凡て所持旅券に同國領事の正式査證を必要とする外出發港に駐在するエクアドル國領事並に上陸港に於ける移民官憲に對し種痘證明書の提示を必要とする。同國に於ける滞在期間が三十日以内の旅客は移民登録を要しない。又旅行者を除き一人米貨一弗の積立金を供託することを要するが、右は後に至り公定爲替相場場で換算の上入國者に返戻される。

商品見本 價格五千スケレ未滿の商品見本には領事送状は不要であり、且輸入の日より百二十日以内に再輸出する場合は、之等の見本は輸入税及他の通關諸掛を免除される。見本は輸入港に於ける税關の鑑識證明書を取付ければ、他の港から再積出をすることが出来る。又價格を有する見本はその都度輸入税を支拂つて賣却する事が出来る。通關業者の手數料は左程高率でなく、見本の通關には之を利用して多大の時間を節約することが出来る。

廣告用品 廣告用として撤布することを明記した商業價格を有しない廣告用品は輸入税を免除されるが、價格ありと認められる物品は通常の輸入税を適用される。

旅商に對する課税 三十日未滿國內に滞在する旅商は國內税の適用を免除される。旅商に對する市税は當該市により税率を異にし、グアヤキルに於ては市税を賦課せず、キートでは五十スタレの税金を課しその免許期間は無期限である。

五、販賣上より見たる當國市場

旅商が最も重視する市場はグアヤキルとキートの二市場で、其他の都邑を巡廻する外國旅商は極めて稀である。グアヤキルは人口約十三萬を有する當國第一の港市で、主要輸入商乃至卸商は殆ど同市にあり、沿岸地方は素より内地へも同地から商品を供給する。首府キートは人口約十一萬を有するが、商業中心地としてはグアヤキルに一步を譲る地位にある。之等兩市には小賣業者で直輸入を營む商社もあり、前記兩市以外の地方小都市にも直輸入商が數軒ある。之等兩市に次で重要な商業中心地はクエンカ (Cuenca) 及びリオ・バンバ (Rio Banda) であり、營業品目に依つては一巡の價値があるが、前者は旅行に長時間を要するのが缺點である。

前記の通り、グアヤキル乃至キートの代理店を通じて他の諸地方への賣捌を行ふことは容易であるが、國內を隔なく旅行しようとする人達の爲に旅程の一例を参考迄に掲げる。

北から當國に入國する旅商は先づエスメラルダ港に上陸し、同地の商用を済ませたら小型船でマンタ、パイア・デ・

カラケス等の沿岸港市を訪れ、マンタ港からは中央鐵道を利用してポルトヴィエホ (Portoviejo)、サンタ・アナ (Santa Ana) 等に至ることが出来る。此の経路のサイド・トリップとして、馬若くは自動車で、エクアドルの名産であるヒビハバ帽子の生産中心地であるモンテクリステル (Montecristi) 及びヒビハバ (Tijipapa) を訪問することも興味があらう。マンタ港からグアヤキルへは海路を選び、グアヤキルから首府キートへは汽車又は自動車を利用し、必要に應じ途中ウイグラ (Huigra)、リオ・バンバ (Rio Banda)、アンバト (Ambato)、ラタクンガ (Latacunga) 等に立寄る。キートからイバラ (Ibarrá) へは鐵道が通じ、カヤムベ (Cayambe)、オタヴァロ (Otavalo) 等の小邑に途中下車するのもよからう。イバラからツルカン (Tulcan) 乃至コロンビア國境への旅行は自動車による。キートとコロンビアの首府ボゴタの間には比較的良好的な自動車路及鐵道が通じてゐるので、兩國々境の山嶽地帯を経由して出入國する旅客の数は近年漸増の傾向にある。

(旅行所要時間) グアヤキル、エロイ・アルフロ (Eloy Alfaro)、ドゥラン (Durán) 間二哩半渡船にて半時間、エロイ、アルフロ、リオバンバ間一四四哩鐵道で十一時間、リオバンバ、アンバト間三十哩、鐵道にて二時間、ラタクンガ、キート間六十一哩鐵道三時間半。尙りリオバンバ、キート間は自動車で約五時間を要し、貸切自動車で百二十スタレを要するが、合乗の場合は一座席三十乃至四十スタレ程度である。

六、其他の參考事項

季節、温度等 氣候の關係上當國への旅行は、五月より十二月に至る乾季が好適である。大部分の商品は五月末頃に賣捌くのが最適であるが、各商品による季節的特質をも考慮すべきは言を俟たない。グアヤキル並に沿岸地方に於ては十二月の末頃から四月頃迄は雨季で、残餘は乾季である。夜は一年を通じて涼しい。雨季の始には蟋蟀の大軍が同地方に襲来し衣類並に織物を毀損するから注意を要する。山間地方の雨季は沿岸地方と期を一にするが、高度のため一年を通じ氣候は寒冷である。又十二月二十日以後に於て例年定期的に一週間乃至それ以上に亘り雨季が切斷されヴェラニリ(Veranillo)と稱する乾燥期間が来るのを常とする。

沿岸低地及オリエンテ(東部)地方は概して濕潤な熱帶的氣候であるが、海岸地方は内奥地方に比較し幾分涼しくコロンビアの海岸地方よりは遙かに冷涼である。最近數年間に於けるグアヤキル地方の平均温度は、最低華氏六十六度(六月乃至七月)、最高八十九度(二月及十一月)、年平均七十八度である。次にキートに於ては年平均五十七度、最高は八月の七十九度、最低は十一月の三十五度を示してゐる。

服装 グアヤキル地方では一年を通じ熱帯用衣類を着用し、木綿、麻、バーム・ビーチ乃至絹等の生地が最も適當である。白地服の方が一般に好まれるが薄手の濃色地服を着用される。ヘルメット帽子乃至短袴は使用されない。又旅商は常に上衣を着てゐるべきである。キート、リオペンバ其他の山間地方乃至之等地方とグアヤキルとの間の旅行には毛織合着服、薄手外套、スエター乃至中位の下衣を着用するのが便利である。

ホテル グアヤキルでは一流ホテルの料金は食事を含み一日米貨二弗乃至四弗、キートの一流ホテルであるメトロポリターノで食事を除き一日一弗乃至二弗、食事はア・ラ・カルトである。其他の地方都市のホテル料金は右よりも餘程低廉である。

健康上の諸注意 グアヤキルは現今では決して健康に危険な地ではなくなつた。エクアドル政府が入國者に強要する種痘の外、海岸地方及山間に屢々發生する腸チブスに對する豫防注射をして行くべきである。最も危険なのは赤痢であるから、サラダ菜、ウァーター・クレス、セロリ、赤かぶ等の生菜、罐詰以外の飲料水乃至牛乳は成るべく避け、罐詰の牛乳若くは粉末牛乳を飲む方が安全である。

休祭日 住民の大部分はローマ・カトリック教信者であるが、當國には國定宗教と稱すべきものはない。休祭日には商賣を休むのが常であるが、小都市特に奥地の小賣商にあつては例外である。而して當國の法定休祭日は下記の通りである。一月一日、五月二十四日(ピチンチャ Picincha 戦争祭日)、八月十日(キート獨立祭々日)、九月十八日(獨立日)、十月九日(グアヤキル獨立日)、十月十二日(アメリカ發見記念日)、十一月二日(全靈魂祭)及十二月二十五日(キリスト降誕祭)。

七、信用條件

米國商社は概して保守的な信用政策を取るが、右は當國輸出商品の特質、頻繁な政策改變、爲替相場の軟調等に歸する市場の不安定に基くものである。而して商品の積出しに對してはグアヤキル宛一覽拂爲替乃至は全額に對する信用狀によるのが常例である。尤も信用のある老舗に對しては餘程寛大な條件を與へるのが常である。尙獨逸商社は米國商社に比し從來遙に長期且寛大な取引條件を以て對してゐるので、當國商社間の人氣を博してゐる。

八、貨幣及爲替

一九三二年以前に於てはエクアドルの貨幣單位であるスクレは米貨二十仙の價置を有してゐたが、同年同國政府の金本位制離脱以來對米相場は〇・〇七乃至〇・〇八弗に下落した。現在に於ける當國の通貨は下記の通りである。
銀貨一及二スクレ、五十仙の三種。ニッケル貨十、五及二・五仙の三種（二・五仙貨は山間の小部落に於てのみ使用される）。銅貨には一仙があるが極く稀にしか見受けられない。紙幣には百、五十、二十、十及五スクレの五種があり之等は皆唯一の發券銀行たるエクアドル中央銀行發行に係る紙幣であつて、政府紙幣はない。

九、重要商業中心地

アンバト (Ambato) 人口一萬八千。ツンガラウア (Tungurahua) 州の首都、キート及グアヤキルより鐵道が通じ、又ペリレオ (Pelileo) に至る二十一哩の鐵道も完成を見た。織物其他の工業が行はれ、商況も相當活潑であるが、輸入はグアヤキル港乃至首府の商社を通じて行はれる。

クエンカ (Cuenca) 人口四萬五千アスアイ州 (Azua) に在り、海拔八、四六八呎、氣候冷涼である。グアヤキル、キート鐵道によりシバンベに (Sibambe) 至り、同地よりシバンベ・クエンカ鐵道でティポコチャ (Tipococha) に出で、更に同地より自動車又はバスで達しグアヤキルより十九時間を要する。クエンカはエクアドル國第三の重要都市で輸出向パナマ帽子の製造が盛である外、製粉、麥酒、ソーダ水等の製造が行はれる。又近傍よりは大理石及金を産出すると共に獸皮及穀類の集散地である。當地は比較的交通が不便なので外國旅商は餘り來ないが、時間が許せば旅程に入れるべきである。ホテルにはパトリア (Patia) があり、宿泊料は米貨一弗内外である。銀行にはアスアイ (Azua) 銀行、ナショナル信用銀行 (La Previsora Banco Nacional de Crédito)、中央銀行等がある。

エスメラルダス (Esmeraldas) 人口一萬、同名州の州廳所在地。コロンビアのブエナヴェンツウラ及グアヤキル

から船便がある。當港は背後に豊饒な農業地帯を控へ商況股賑であり、輸入業者の數も少くない。ホテルはエウロウバ、グアヤキルの二が主である。

グアヤキル (Guayaquil) 人口約十三萬當國第一の商都且貿易港である。南米西岸諸線の諸國汽船は概ね當地に寄港し、又バナグラ社の飛行機も發着する。首府キートへはグアヤキル・キート鐵道が通じてゐるが夜行列車を運轉しないので行程に二日を費し、貨金は五十スケレ半、他に一等座席料十二スケレ六十仙を要する。

(銀行) エクアドル中央銀行 (Banco Central del Ecuador)・ラ・プレビソラ銀行 (Banco La Previsora)・倫敦南米銀行 (Banco de Londres y America del Sur)・割引銀行 (Banco de Descuento)・伊太利銀行 (Banco Italiano) 勸業信用銀行 (Banco de Crédito Hipotecario)・エクアドル勸業銀行 (Banco Hipotecario del Ecuador)・ヘネラル・ヂ・クレディト組合 (Sociedad General de Crédito)・フ・メントロニカ銀行 (Banco La Filantrópica)・及貸附銀行 (Banco de Préstamos) 等。

(ホテル) メトロポリタン (Metropolitano)・グランム (Grand)・アストリア (Astoria)・リット (Ritz)・テ・ヴォ (Tivoli) 等。

當地には有力輸出入商及卸商が數多あり、商取引も亦中々盛であるから外國旅商は宜しく往訪すべきである。一代理店をしてエクアドル全國を受持たせやうとする場合は、當地に代理店を設置すべきである。當地の卸商はキートを合む全國に取引先を有し、中には大規模な輸入を行ふものがあり、多數の小賣業者中にも亦直輸入を行ふものが少く

ない。當地は往時マラリア其の他の惡疫が流行し、極めて不健康地であつたが、其後衛生施設の改善を見、現在に於ては二年を通じ健康上危険などと言ふ懸念はない。

マンタ (Manta) マナビ州 (Manabi) にある珈琲の輸出港で、人口約七千の小邑であるが、中央鐵道の起點でありポルトヴィエホ、ヒビハバ、モンテクリステイ、サンタ・アナ等をヒンターランドとする關係上、直輸入商も數軒ある外、最近各種の工場が増設され、その重要性を漸増しつゝある新興港市である。ラ・プレヴィソラ銀行及伊太利銀行の支店があり、ホテルにはロイヤル、プエノス・アイレス等がある。

キート (Quito) 海拔九千五百呎の高原上にあるエクアドル共和國の首府で、人口約十一萬を算し、グアヤキルより二百九十哩を距て、グアヤキル・キート鐵道が通じて居る。「コグア」港からの汽車は一週三回運轉されるが、旅客は途中リオバンバに一泊し、翌日夕方キートに到着する。

商業中心地としてはグアヤキルに一步譲るが、キートは政府の所在地である關係上取引商品の種類も幾分異り、又他地が不況の際にも當地は左程でもないことがある等、市場としての特種性を持つてゐるから、取扱商品にもよるがエクアドルに赴く以上一應當首府をも訪ねるべきであらう。

當地には外國銀行の支店は設置され居らず、内國銀行にはエクアドル中央銀行の本店の外グアヤキルに本店を有する諸銀行の支店があり、ピチンチャ銀行 (Banco de Pichincha)・ルシンド・アルメイダ商會 (Lucindo Almeida y Cia.)

アバスト銀行 (Banco de Abasto) 等はキートに本店を有する銀行である。
(ホテル) はメトロポリタン (Metropolitano) 及サヴォイ (Savoy) の二を一流とし、ロイヤル (Royal)、ヴァナ (Vienna)、ヒウロウズ (Europa)、ナポリタン (Napolitano) 等の二流ホテル及スマート (Smart)、ボルハ (Borja) 等の下宿がある。

リオバンバ (Rio Bamba) チンボラン (Chimborazo) 州の首都、海拔九千二十呎の高原上に位し、人口約二萬四千。グアヤキルの東北百五十哩、グアヤキル、キート鐵道の本線に沿ひ、グアヤキル港より約十二時間を要し同港キート間の汽車旅客は必ず當地に一泊する。リオバンバは農牧業の中心地である外、酒精飲料、綿、毛織物、敷物、靴等の工業が行はれる。中央銀行の出張所が設置され、ホテルにはメトロポリタン及エクスアドル等がある。
【其他の小都市】 前記諸都市に次で擧げられる地方中心地には左の如きものがある。

ババオヨ (Babahoyo) ロス・リオ縣にあり、グアヤス河に臨む水陸交通の要衝、人口一萬二千。

バイア・デ・カラケス (Bahia de Caraquez) マンタの北方に位する小港で、内陸チーネ (Chone) に至る鐵道の發
起點。

グアラランダ (Guaranda) ボリーヴアル州首都、人口一萬二千。鐵道開通前には首府とグアヤキル間の中間に位する交通の要地であつたが、現在は餘り振はない。

ラタクンガ (Latacunga) レオン (Leon) 州の首都、人口約一萬六千、コトバクシ火山の麓にある。

ロハ (Loja) 同名州々廳所在地、人口一萬八千、ペルーとの國境近くの山間にあり、交通不便であるが、附近は豊沃な農業地帯である。

ツルカン (Tulcan) コロンビアと境を接するカルチ (Carchi) 州の首都。人口約一萬、キートより來る自動車路は當地を経てコロンビアに通じ當地は兩國々境の要地である。

パナマ共和国 (República de Panamá)

一、面積、地形及氣候

面積 パナマ國はパナマ運河に依り、中米及カリビヤ海諸國並に南米西岸諸國を結び付ける重要位置にある。國の面積は三萬二千三百八十平方哩、即ち八萬三千八百六十四平方軒で、ドミニカ共和國とサルヴァドル國とを合した位である。東西の最長距離は四百二十哩、南北の最大幅員は百十八哩である。

地形 國は全體に山勝ちで、チリキ縣にあるチリキ火山 (Volcan de Chiriqui) は最高峰であつて、海拔一萬一千百呎に達する。國を東西に走る山脈を分水嶺として、數多の河川は太平・大西の兩洋に注ぐ。ダリエン及チリキの兩縣には豊沃な平野が展開し、牛畜、野菜及各種の熱帯果實の栽培に適してゐる。

氣候 氣候は熱帶性で降雨が極めて多い。尤もアンデス山系の高地は海岸低地に比較して雨量が少く且氣候も遙かに良好である。大西洋岸のコロンに於ける年平均雨量は二二八・八九吋、最大一八三・四一時、最少八〇・三一時を示

し、年平均温度は華氏八〇度、最高九十五度、最低六十六度である。

次に太平洋岸のバルボア高地(パナマ市近傍)に於ける年平均雨量は、六九・四五吋、最大九一・四二吋、最少四五・五八吋を示し、年平均温度は七十八度七分、最高九十七度、最低六三度である。

雨期は普通五月中旬に始まり十二月上旬乃至中旬に及び、雨期の開始期及終止期に於て最も雨量が多い。太平洋岸に於ては乾期中は降雨を見る事は極めて稀であるが、大西洋岸に於ては之に反し乾期中と雖も常に驟雨がある。日中は常に暑いが夜間は涼しくて快適である。

二、人口並住民

住民の大部分はスペイン人、印甸人及黒人の雜種であつて、純白人は全人口の一割乃至一割五部を占めるに過ぎない。右の外西印度諸島から來住した英國々籍を有する黒人が多数居住し、ヒンヅ、支那、アラビア等の外國移民も多い。

一九三〇年の國勢調査によれば、國の總人口は四十六萬七千四百五十九人であるが、その職業別割合は下表の通りである。即ち生産業者(農、牧、漁業者)八六、三六三、工業關係者四二、五五〇、商業五、三七〇、家庭労働者一二六、二〇四、其他(分類し難き者及印甸人を含む)一四七、四四九。

三、主要産業

鑛業 各種の地下資源が埋藏されてゐると言はれるが、採掘の行はれてゐるのは金及鹽のみである。滿産も多量に埋藏されてゐると傳へられるが、現在迄発見されたものは品質不良で商品價値に乏しい。

工業 麥酒、ラム酒、ウキスキー、砂糖、靴、菓子、家具、出來合衣類等の製造が行はれるのみで、工業は未だに幼稚の域を脱してゐない。

〔輸出品〕 パナマ國の主要輸出品を金額順に列挙すれば下の通りである。バナナ、カカオ、金、家畜類(運河地帯向に限られる)、ココナツト、鼈甲、獸皮、眞珠、マホガニー、アイヴオリ・ナツト等。

四、運輸及通信

パナマは南北兩米の東西兩岸の海空交通の要衝を占めて居り、旅商にとつては最も重要な所である。西印度諸島及中南米諸國に取引先を有する旅商は、パナマに本據を置いて飛行機乃至汽船を利用してその販路に對する活動の中心地とする者が少くない。

海運 パナマは四通八達の海運中心地で、米國を始め歐洲各國及日本の各國船が頻りに來往する。邦船でパナマに寄港する客船は郵船會社の南米西岸航路（バルボア港）、大阪商船會社の南米航路（復航の途次パナマ運河を通過する）の二社船であるが、貨物船では前記兩社の紐育航路及カリブ海線、國際、川崎、山下、三井の各社船他があり之等貨物船中には一定数の旅客を乗せるものもある。米國船は紐育、ガルフ諸港、太平洋岸諸港とパナマを結ぶ外南米兩岸線の船もパナマ國港に寄港し、その主なるものはユナイテッド・フルート會社、グレース・ライン、ダラー・ライン、パナマ・パシフィック・ライン等である。歐洲諸國の中南米航路も殆ど全部パナマ國港に寄港するが、船會社の名は餘りに多いから省略する。

航空 パナマは北、中、南米及西印度諸島を飛翔する飛行機交通の一大中心地である。即ち汎米航空會社はテキサス州ブラウンズヴィルを起點とし、パナマを終點としてメキシコ及中米五ヶ國を結ぶ幹線を、又汎米グレース航空會社（Pan American-Grace Airways Inc.）はクリストバル、南米西岸諸國、亞爾然丁間の航空路を經營してゐる。更に運河地帯を南北に縦走するものにパナマ航空會社（Panama Airways, Inc. 汎米航空會社）の子會社の線があり、パナマ國內には下の如き當國會社經營の航空路がある。パナトーラス・ラノス（Las Lajas）—ダヴィド（David）—アル・ムエリス（Puerto Armuelles）港間毎日、パナトーアントン（Anton）—ナス・サントス（Los Santos）—ラス・タブラス（Las Tablas）—オクター（Oca）サンティアゴ（Santiago）—ラ・メサ（La Mesa）—カローラ（Calobre）—ペノメ

（Penonomé）間一週二回及パナマ—ヘル・ボルカン（El Volcán）—ボカス・デル・トロ（Bocas del Toro）間毎週一回。

鐵道 コロン、パナマの兩市間四十八哩にはパナマ鐵道が敷設されてゐる。ユナイテッド・フルート會社はアルミラント（Almirante）を中心としてパナマの生産地帯に約五十哩の鐵道を有し、パナマ國政府の所有に係るチリキ・ナショナル鐵道（Ferrocarriles Nacionales de Chiriquí）はアルムエリス港、ボケテ（Boquete）間の本線、及コンセプシオン（Concepción）、ペドラガル（Pedregal）及ポトレリリス（Potrerillos）に至る支線がある。

郵便 當國は萬國郵便聯合に加盟して居り、外國郵便はパナマ、コロン及ボカス・デル・トロの三箇所を取扱はれる。書狀の郵税は内國郵便は二仙（運河地帯宛は三仙）、外國郵便は米洲各國及スペイン宛三仙、其他の諸國宛は五仙である。飛行郵便は米國宛二分の一オンスに付二十仙で、歐洲、東亞等へは紐育經由で送達される。又チリキ縣は同内であるが陸海の交通が不便であるから飛行便を利用することが多し。

電信 國內に電信局三十三、電話局百八十九がある。バルボア、グリエン、ブンタ・マラ、コロン及ココソロには米國政府の無線電信局が設置され、商用通信に公開されてゐる。海外との有線電報は全米電信會社（All America Cables, Inc.）が取扱してゐる。

五、到着後の手続

手荷物 汽船乃至航空機で運河地帯に到着した場合手荷物の通關は概して迅速に行はれる。運河地帯駐在の米國税關吏は波止場及飛行場に出張して居り、パナマ共和國內で使用されるべき、商業見本を除き總ての荷物を検査及通關する。前記商業見本はパナマ又はコロンの當國税關向送付される。パナマ鐵道運送會社はコロン、クリストバル、バルボア、アンコン及パナマの各地への荷物運搬を取扱ふ。又バルボア及クリストバルには料金の定つたタキシードがあり、運轉手は乗客の需めに應じ料金表を呈示すべきことになつてゐる。パナマ鐵道は大人の乗客一人に對し百五十封度迄の手荷物を無料とし、超過運賃は一封度に付一仙の割合で徴收する。

旅商に對する税金 旅商が代表する商社がパナマ國內に代理店若しくは取引先を有する場合には税金の支拂を要しないが、然らざる場合は大藏省の稅務局から許可書を取付ける必要があり、右に要する費用は二十五弗で、許可書の有効期間は無期限である。而して稅務局發行の證明書を所持する事により、市税を免除される。

旅商に對する免許 商用の目的を以て渡來する旅商の入國は法令によつて統制を受けて居り、必要の免許を取付ける爲には當該國官憲の發給する證明書に領事の査證を必要とし右に對しパナマ國官憲が免許を附與する。「旅商」なる

字句は明確に定義されてゐないが、現行規定によれば、(イ)單にパナマの市場を研究する目的の實業家で、商業關係は設置するが商品の賣却をしない者(ロ)國稅及市税を支拂ふ代理店を通じ商行爲を行ふ者及(ハ)買付のみを行ふ業者は旅商としての免許を必要としない。尙前記當該國官憲の發給する證明書に關しても細密な規定を缺くが、商工會議所或は之に類似する責任ある商業機關、更に場合によつては信用ある製造業者乃至は輸出業者による適正な身分證明書にパナマ領事の査證を有するものは、當國大藏當局が之を認めるとされてゐる。

六、見本及廣告

商業的價値のない見本は無税で輸入を許可されるが、價格を有する見本は保稅品として若しくは税金相當額を積立てた上で輸入を許される。而して之等見本は再輸出を立證することに依りボンドの取消乃至積立金の返戻を受ける。税關當局の評價を経ずして見本を賣却することは避けねばならぬ。尙運河地帯は米國領であるから、同地帯を目的とする見本の搬入には米國側官憲の許可を要すること勿論である。

寶石類、煙草、各種酒精飲料は數量若しくは金額の如何を問はず「無價格業務用見本」として許されない。又醫藥用品、一オンス以上の容器入りの各種液體、クリーム、ボマード、糊等、四分の一オンス以上の固體又は半固體製品、鉛筆、ペン軸、ペン掛、吸取紙帳、定規、懐中小刀、燐寸、盆皿、花瓶、灰皿等、廣告用に撒布するときは類似商品で輸入税を支拂つたものと競争の立場に置かれる如き商品も無價格業務用見本とは認められない。靴のは左足の分丈

の場合は無価格と看做される。

商品見本の再輸出は關稅徵稅官に通告せざる限り輸入港から行はねばならぬ。尤も旅商は見本をコロンの通關してパナマで再輸出し、若くは之と反對の方法を取ることが出来る。

通關に要する時間 旅商が見本を携行し且賣却し得ないことが明白である場合は、通關は至つて迅速に行はれる。見本に税金が賦課される場合は多少時間がかかるが、一日以上を要することは極めて稀である。

通關手續 陸揚港に於ける通關手續は概して簡單であるが、税金の支拂を要する見本、ボンドの積立の場合乃至保稅荷物となる見本の通關には通關代理業者の手を経ることが望ましい。尙パナマの稅關吏は大概英語を話す。

廣告用品に對する課稅 カタログ、冊子、曆等旅商が携行する廣告用品は普通無稅で輸入を許される。

七、販賣地域

パナマ國の主要商業中心地はパナマ、コロンの、ダヴィッド、プエルト・アルムエリス及コンセプシオンの五箇所であるが、普通外國旅商が往訪するのはパナマ及コロンの兩市のみである。之等兩市場は當國總輸入の約七割五分を消化

し、且兩市にある卸商は頻繁に内地へ販賣係を派遣する。ポークス・デル・トロは以前ユニナイテッド・フルーツ會社のバナナ栽培が活況を呈してゐた頃は重要な市場であつたが、蟲害の結果同社が活動の中心を太平洋岸のプエルト・アルムエリスに移してからは同地の方が重要性を増すに至つた。アルムエリス港を中心とする太平洋岸の地帯にはダヴィッド及コンセプシオンの兩中心地があり、近年に於けるバナナ産業の躍進的勃興に依り、同地方は輸入商品の重要市場となつた。而して右地方に關しては後章「重要商業中心地」の章で説明することにする。

代理店設置箇所 前述の通りパナマ及コロンの兩市が、國內全體の市場に對する分配の中心地であつて、著名の卸商は兩市を始め國內各地に販賣網を有してゐる。又コロンの二、三大商社は少數の沿岸通ひの船舶を所有し、大西洋岸各地に散在する諸町村に對し配給を行つてゐるから、同地域に對する取引を委託するには最も適當である。

運河地帯の重要性 パナマ運河糧食經理部 (Panama Canal Commissary) は米國內に買付先を有し、殆んど事實上の買付を行つてゐるが、新商品紹介等の爲には同經理部の係官を往訪する必要がある。尤も右は主として米國旅商に興味ある問題であつて、邦商には割込の餘地はあるまいが何等参考迄に書添へておく。

八、其他の參考事項

旅行最適時期 氣候の關係上バナマへの旅行は乾季、即ち十二月中旬から四月中旬に至る四ヶ月間が最適時期である。

娯樂施設、休祭日等

(名勝遊覽地等) バナマの市内には政廳、市廳、中央教會堂(一七七六年の建立に係る)、サン・ホセ教會(黄金の熱帯があるので有名)等由緒ある建築物に富み、舊バナマの遺跡(一六七一年海賊モーガンにより破壊された)、ポルト・ベリの舊スペイン保壘等は歴史的記念物として觀光客の跡を絶たぬ處である。

(娯樂) バナマは水泳、釣魚、狩獵、ゴルフ、テニス、乗馬、競馬、ダンス等のスポーツ或は娯樂機關が多く、バナマ市のユニオン俱樂部は社交俱樂部として相當名高い。

(休祭日) 當國の國教はローマ・カトリック教であるから、舊教關係の祭日は一般に尊守され、官公衙は閉鎖されるが、店舗は時に依り開業する。バナマの法定休祭日は下記の通りである。一月一日、一月二十一日(バナマ市建設記念日)、二月十五日(憲法發布記念日)、謝肉祭懺悔火曜日、聖週木、金曜日、五月一日(勞働祭)、六月二十二日(汎米記念日)、七月四日(米國獨立記念日)、七月十四日(バステューネ陥落記念日)、同月二十四日(ポリヴァル誕生日)、十一月二日(全魂祭)、十一月三日(バナマ獨立記念日)、十一月十日(獨立絶叫記念日)、十一月二十八日(スペインより離脱記念日)、十二月八日(母の日)、十二月二十五日(クリスマス祭)。

九、貨幣及爲替

バナマ國の貨幣單位は金バルボア(Balboa)貨で、品位〇・九〇〇の金一・六七二瓦を含む金本位制を採用してゐるが、同貨は未だ會て鑄造されたこともなく、流通したこともない。現在の通貨バルボア貨は米貨一弗と同價値である。

而して通貨の種類は、銀貨一バルボア、五十仙、二十五仙及十仙の四種、ニッケル貨五仙及二仙半、銅貨一仙の各種であつて、二仙半を除き之等貨幣の大きさは同等價格の米貨と同一である。バルボア貨は運河地帯に於ても自由に流通し、運河通行税を除き總ての支拂に使用出来る。

一〇、重要商業中心地

バナマ市 共和國の首府、人口約八萬五千、バナマ運河の太平洋岸入口近く位し、バナマ鐵道の發起點で、大西洋岸のコロンと四十八哩を距ててゐる、附近からはバイナップル、バナナ、野菜等を産し、麥酒、釀酒、菓子、曹達水等の飲食物、家具、衣類等の製造が行はれる。

(銀行) 紐育ナショナル・シティ銀行、紐育チニス・ナショナル銀行、加奈陀ローヤル銀行等の米英銀行支店及バナ

のナショナル銀行 (Banco Nacional de Panamá) がある。

(ホテル) セントラル、コロン、インテルナショナル、コロンビア、コンティネンタル、メトロポール等の外、近隣の運河地帯アンコンには米國政府經營のティヴァリ・ホテルがある。

(タクシー) 區間制で、第一區内は十五仙、第一區より第二區へは十仙を増徴される。パナマ市と運河地帯のアンコン及ベルボアは何れも近接して居る。ティヴァリ・ホテルからパナマの商業地區へは十五仙で行ける。時間制に依る場合は一時間三弗、最低料金は一弗半である。

(コロン) コロン縣の縣廳所在地、人口約三萬五千、運河の北側大西洋岸の入口を拒し、運河の外に首府との間には鐵道及飛行機の便がある。出入船舶は普通對岸運河地帯のクリストバル (Christobal) の棧橋に横着けになり、同地より自動車で連絡する。コロンの主要産物はバナナ、パイナップル、ココナツ、堅材、染料材、アイヴオリ・ナツツ等である。

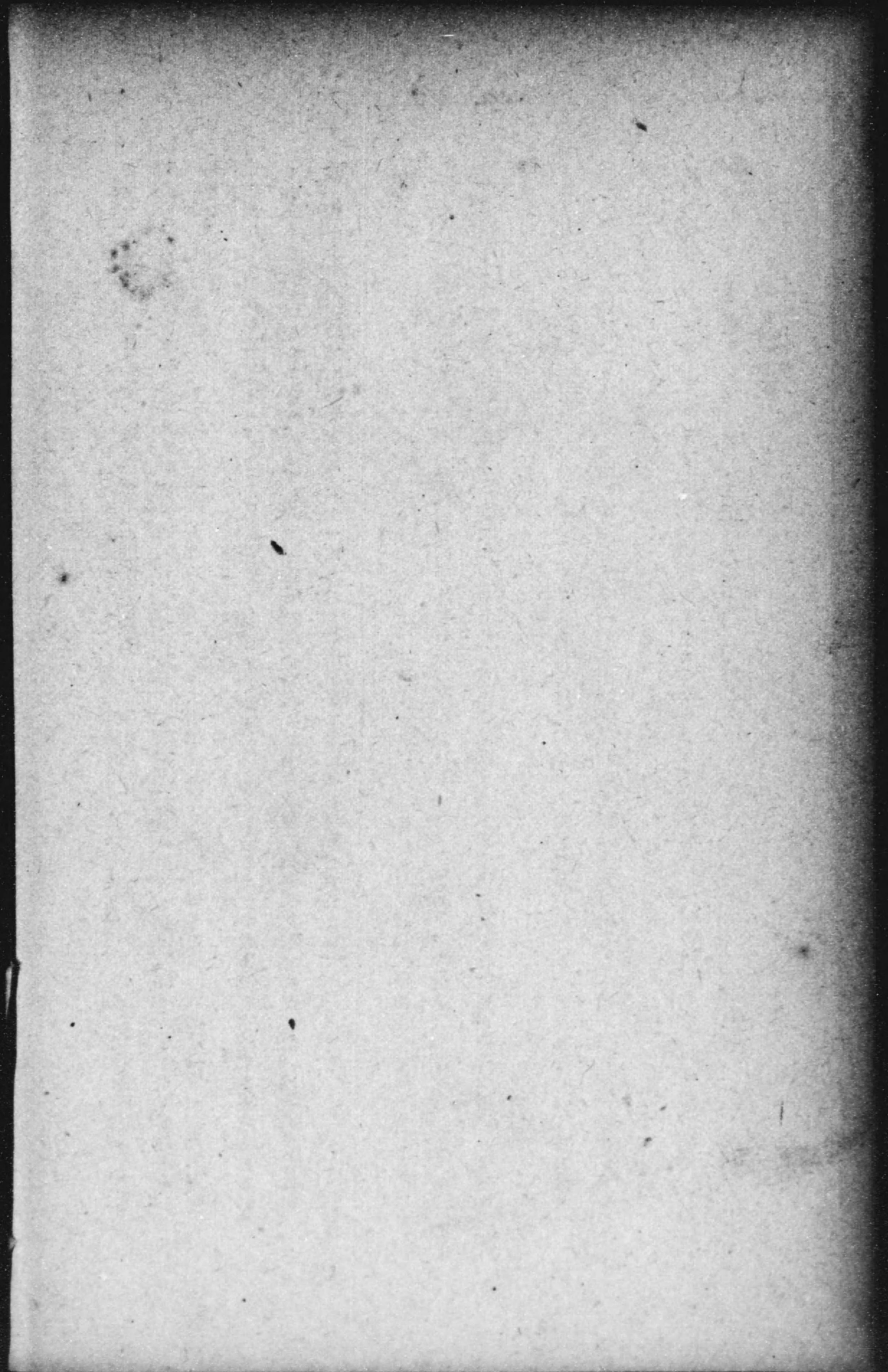
コロンにある銀行は前掲パナマ市のものと同様である。

(ホテル) ワシントン (米國人經營)、インペリアル、カールトン、アスター、ロイヤル、イタリア等あり。

ダヴィド (David) チリキ縣の首都、人口約八千、パナマ市から三百九哩の距離にあり、兩地間の交通は沿岸航路汎米航空會社及ナショナル社の飛行機に依る外、乾季には自動車で達することも出来る。當地からはフェルト・アルムエリス及コンセブシオにナショナル鐵道が通じてゐる。當地方の主要産物は、畜牛、珈琲、カカオ、甘蔗、米、

バナナ、玉蜀黍、野菜等で、獸皮、鼈甲、眞珠等が輸出される。銀行にはエンリケ・ハルフェン商會 (Enrique Halphen & Co. Inc.) があるのみで、ホテルもベンシオン・ブレネス、サンティアゴ・ロンバルディ等のベンション程度のものしかない。

フェルト・アルムエリス (Puerto Armuelles) ダヴィドの西方、コスタ・リカとの國境に近く位する小港であるが、ニューナイテッド・フルート會社が當地をバナナ栽培の中心地としてから急激に重要性を増すに至つた。同社の汽船は毎週一回バナナ積込の爲に寄港する。パナマ市との交通はダヴィドの項を参照せられたい。



欠

MISSING

ペルー共和国 (República del Perú)

一、面積、地形及氣候

面積 ペルーの面積は一九二九年國境劃定協定に依り智利國から獲得したタクナ地方を合せて約四十六萬三千平方哩と言はれ、ボリヴィアより稍小さく、コロンビアよりは稍大きい。

地形 ペルーの地形の最も著しい特徴は、アンデス大山系が東、中、西の三山脈に分れ、併行して縦走し、國を三地域に區劃してゐることである。第一は西部山脈 (Cordillera Occidental) の西方にある海岸寄りの狭い帶狀地帯で東西の幅は二十五哩乃至百哩である。同地帯はペルー國の中で最も開發された部分で、太平洋岸の諸港、棉花及砂糖を生産する諸谿谷、北部の米及石油地帯、首府であり最大商業中心地であるリマ及南部の商港モリェンド等を擁してゐる。第二は中央山脈 (Cordillera Central) を中心とする山嶽地帯で、シエラ (Sierra) 地方と呼ばれ、幅二百哩乃至二百五十哩、海拔四千呎乃至二萬呎の高地である。オロヤ (Oroya)、フニン (Junín)、セロ・デ・バスコ (Cerro de Pasco) 等の鑛山、クスコ (Cuzco) の舊都、南部ペルーの商業中心地アレキパ (Arequipa) 等はこの地方にある。第

三は東部山脈 (Cordillera Oriental) の東方、通稱モンタナ ("Montaña" 山の意) 地方と呼ばれ、東部ペルーの熱帯森林地帯、アンデス山系の東斜面及アマゾン河流域の低い盆地を含む人口稀薄、未開の地方である。當地方の主要商業中心地であるイキトス (Iquitos) はアマゾン河の支流マラニオン (Marañón) 河に臨んでゐるが、貿易はアマゾン河に依り、ブラジルを経て行はれる。

河川及湖沼 ペルーでは八乃至二十呎の吃水線を有する河川船舶の航行の便がある内水路延長が約三千乃至四千哩に達する。アマゾン河の上流は、その支流と共にペルーの水運に多大の便を與へ、その距離は三千哩に上ると言はれる。アマゾン河の支流の中ウカヤリ (Ucayali) 及マラニオン (Marañón) の兩河が最も主なもので、アマゾン河を溯行する汽船はイキトス迄上ることが出来る。右の外パチテア (Pachitea) 及ピチス (Pichis) の兩河にも小舟が通じ

る。湖沼には航行の便がある湖水中世界最高の稱あるティティカカ (Titicaca) 湖がボリヴィアとの國境にある外、長さ三十七哩、幅七哩のフニン湖 (Junta) (一名チンチャイコチャ Chinchaycocha) アマゾン河の水源だと言はれるラウリコチ (Lauricocha) 等がある。

氣候 國の大部分が高地であることと、フンボルト寒流が大太平洋岸に沿つて流れてゐることはペルーの氣候に大きな影響を與へてゐる。カリヤオの温度は七、八及九の三ヶ月平均華氏六十二度、二月及三月の平均七十一度であるが

その緯度に比し極めて低温である。モリンドン港に於ける平均温度は七月乃至九月五十九度、一月及二月七十度である。

内陸に入るに従ひ気温は漸次昇り、海岸から五十哩乃至百哩奥のアンデス山麓では海岸より平均二度乃至三度高いカリヤオ港より五百二十呎高い首府リマでは、最も暖い二月の平均温度は七十三度で、最も冷しい七、八及九月は六十一度位である。

ペルーの海岸地方は乾燥してゐて、一年中殆ど降雨を見ないが、積雲及び霧が多い。然し乍ら雨の降らぬ海岸地方に於ても濕氣は比較的多く、カリヤオ及リマに於ける平均濕度は夫々八十四%及八十二%である。寒冷季に太平洋から吹きつける濃霧は極めて浸透性が多い。

前述の通りリマ附近では殆ど降雨を見ないが、強て雨季とも稱すべき時季は七月乃至九月の冷涼期で、全量一吋半位の雨が降るが、之が一年を通じての全雨量である。所がアレキバ地方では冷涼期が却て乾燥し、過去數年に亘つて全く降雨を見た事がない。而してリマとは反對に一月乃至二月に極く少量の霧雨が降る。アンデス山脈の西側斜面では夏期降雨があり、又アマゾン盆地に面する東側斜面に於ては熱帯的の降雨が多い。

二、主要産業

農牧業 ペルーの主要産業は農業であつて、總人口の約八割五分は直接或は間接に農業に依存してゐる。而して棉

花、砂糖及羊毛の三品は當國の主要輸出品を形成してゐる。主要農耕地帯は海岸から山脈の西側に至る内陸の灌漑された谿谷地帯である。棉花の年産は五百封度入で二十一萬五千乃至三十萬捆に達し、砂糖は年三十八萬八千乃至四十三萬三千捆を産出する。産業調査は一八七六年以來行はれてゐないが、政府の統計によれば一九三五年に於ける棉花砂糖、米及小麦の生産に従事する者は二十萬五千人で、その勞銀は九千二百萬ソールに上つてゐる。羊毛市場の動態は南部諸州の經濟に直接影響する所甚大である。

鑛業 由來ペルーは鑛産物を以て聞えて居る國で、鑛業は農業に次いで當國第二の産業である。一九三七年に於ける鑛産物及石油の輸出は二億一千萬餘ソールに上り、農牧産品の一億五千二百四十餘萬ソールを遙かに凌駕してゐる。銅は鑛産物中の大宗であつてフィン州のセルロ・デ・パスコ鑛山及キルヅイルカ（Quilisa）にある北ペルー鑛業會社（Northern Peru Mining and Smelting Company）の兩者が最も重要な會社で、ペルー産の銅鑛は含銀量が多し。一九三六年に於ける主要鑛物の産額を挙げれば、銀二億オンス、金十五萬二千三百二十七オンス、銅三萬二千五百八十五噸である。右の外ヴァナダイウム、鉛、亜鉛等をも産出し、鑛産物の約八割は米國系鑛山から産出する。石炭の埋藏も豊富だと言はれてゐるが、埋藏地帯への交通が不便なのと、灰分を多量に含んでゐるので實際にはあまり開發されてゐない。鑛業従業者数は約二萬人と稱せられ、その勞銀は一年約二千四百萬ソールである。

石油 ペルーは南米第三の石油産出國であるが、現在の産出地帯は國の西北端太平洋に面する部分に限られてゐる。

一九三六年には約一千七百六十萬バレル、翌一九三七年には約一千七百五十萬バレルを産出し、石油業従業者数は約六千人で、その勞銀は九百六十餘萬ソールである。

工業 一九三一年頃から工業は漸次擡頭し、最近の推定に依れば一千ソール以上の資本を有する工場は全國に六百乃至七百、従業員數二萬五千乃至三萬人、その勞銀一年二千二百萬ソールに上るとはれる。ペルー工業協會の推定に依れば一九三三年及一九三四年の工業産額は年一億二千萬ソール内外と見積られてゐるが、右推算には年産額約三千八百萬ソールに上る砂糖が含まれてゐない。従業員數から見ると織物工業が首位を占めるが、機業以外の工業の種類を挙げれば下の通りである。食料品、煙草（政府專賣事業）、皮革、製革、鐵鋼製品、藥品、石鹼、蠟燭、紙、紙器、家具、電球、銀器、硝子及硝子器等。

國民の所得と購買力 之等に關しては未だ嘗て精密な調査が行はれたことなく、明確を缺くが、現人口六百二十三萬七千といふ政府の推定計算は聊か誇張されてゐる様である。輸入品に對する當國全體の購買力は恐らく米國に於ける人口六十萬乃至八十萬程度の都會の購買力と大差ないと見て差支あるまい。全人口の約三分の二を占める印甸人原住民の收入は、僅かな例外を除き極めて限られて居り、特に輸入商品の消費對象としては殆ど考慮に値しない。

三、運輸及通信

海運 ペルーの主要開港場を北から南への順で列挙すれば、パイタ (Paita)・ピメンテル (Pimentel)・パカクム (Pacasmayo)・サラウエリー (Salaverry)・チンボテ (Chimbote)・カリオ (El Callao)・キリン (Mollendo) 等であるが、その中でも重要なのはカリオ及モリンドの兩港で、南米西岸航路の歐米各國汽船が寄港するのは之等兩港である。而して當國港に寄港する主要外國船舶は日本郵船南米航路(西岸線)、英國「太平洋汽船」(Pacific Steam Navigation Co.)、米國「グレース線」(Grace Line)、獨逸「漢堡アメリカライン」(Hamburg America Linie)、伊太利「イタリアライン」(Linea Italiana)、智利海洋汽船 (Compañía Chilena de Navegación Interocéánica) 等の諸會社船である。

ペルーの自國船會社にはペルー汽船會社 (Compañía Peruana de Vapores y Dique del Callao) があり、當國沿岸航路及カリオ港内の運輸其他の港灣事業を經營してゐる。

鐵道 ペルーに於ける鐵道の哩數延長に關しては資料に依り甚だしき開きがあり、何れを取るべきやに苦しむが、全長約二千七百哩程度と見るのが妥當であらう。而して右延長の中私有鐵道が約二千百哩を占め、殘餘の六百哩が國有鐵道である。主要私有鐵道を挙げればカリオ港よりウアンカヨ (Huancayo) に至る中央鐵道 (Ferrocarril Central) モリンドよりアレキバ及フリアカ (Julica) を經てクスコに至る南部鐵道 (Ferrocarril Sud del Perú) の二鐵道である。右の外トルヒロ鐵道、チンボテ鐵道、パカスマヨ鐵道 (Pacasmayo)、ピスコ・イカ鐵道 (Pisco Ica)、パイタ・ピウラ鐵道 (Paita Piura) 等の比較的短距離鐵道が散在し、太平洋岸諸港とヒンターランドを結び着けてゐる。國營

鐵道にはペルー西北鐵道 Ferrocarril Noroeste del Perú ウンチ・フアチ・アンコン間、イロ・モケグア鐵道 (Ilo-Moquegua)、ロンヴ・エンシオン鐵道 (Ferrocarril de Convención)、ウアンカヨ・ウアンカヴェリカ鐵道 (Huancayo-Huancavelica) 其他がある。

次に手荷物南部鐵道のみに見ると、五十瓦迄は無料、それ以上は乗車距離に依り超過運賃を徴收される。旅商の携行する見本人荷物は通常會社と交渉して幾許かの割引を得られる。

航空 パナグラ (Panagra-Pan American Grace Airways) 社の南米西岸航空路の幹線は一週三回往復し、當國內ではタララ (Talara)・チクラ (Chiclavo)・トルコリ (Tujillo)・リマ (Lima)・アレキバ (Arequipa) 及タクナ (Tacna) の諸地に立寄る外、アレキバ經由ボリヴィアの首府ラ・パスへは一週一回運航する。

ペルー系會社のフォーセット航空會社 (Cia. de Aviación Faucett, S. A.) はリマ・タララ間及リマ・イカ間の南北二線を経営し、日曜を除き兩線とも毎日一回就航し、途中地方中心地に立寄り、國內交通に至大の便益を與へてゐる。

ペルー航空會社 (Aerovías Peruanas, S. A.) もリマ・チクラ間の北線、リマ・アレキバ間の南線及リマ・ウアンカヨ間の三線を有し、之等各地間を一週三回往復飛翔し、途中地方中心地に寄港する。

又航空省に屬する海軍航空路はサン・ラモン (San Ramón)・イキトス間の不定期空路を運航し、陸上交通の極めて不便な奥地交通に寄與してゐる。

歐洲大陸との航空連絡は戦前エール・フランス (Air France) 及ドイツ系コンドル (Condor Perrana de Aviación, A. S.) の兩飛行會社がペルー郵政廳、パナグラ及フォーセット等の關係會社との間に協定を結び、南米東岸經由、一週一回程度の割合で航空便を取扱つてゐた。

郵便 ペルーは萬國並に汎米郵便聯合の兩者に加盟してゐるから、米州並にスペイン宛書狀の郵税は一率に二十瓦毎に十仙であり、米國宛飛行郵便税は五瓦毎に一・四五ソル、十瓦毎に二・八三ソル、十五瓦毎に四・一五ソル、二十瓦毎に五・五〇ソルである。

電信 國內通信に於ける無線電信の利用が最近頗る増加したので、一九二九年十月二日附法令を以て政府は有線及無線の兩通信料金を同一類とするに至つた結果、普通電報と雖も無電局のある所に宛てて發電されるものは無線電信を利用する事となつた。而して電報乃至無電の料金は同一州内にあつては一語四仙、隣接州宛六仙、その他は八仙の割合である。近海航行船舶から陸上宛の電報は平文乃至暗號共一語四十八仙の割合であるが、外に陸上電信局への割増金一語に付二十四仙を徴收される。因にリマの電信局はパス・カルメン (Pasaje Carmen) にある外、オール・アメリカ電信會社 (All America Cables, Inc.) はペルーに於ける本據をリマ市 Calle San Antonio 677 に置き、カリヤオ、バイタ、ピウラ及トルヒロの各地に支店を置く。その外 R. C. A 及米洲西岸電信會社 (West Coast of America Telegraph Co.) も夫々無電乃至有線電信の發受を取扱つてゐる。

四、上陸後の諸手續

商品見本は、高級寶石類を除き、税關當局に申請の上、六ヶ月未滿の間一時ペルーに輸入する事を許される。免税通關には見本にスタンプを押し乃至は之を毀損して商業上に無價值である事を示す事を必要とするが、その通關は概して簡易である。

而して見本が商業的價値を伴ふ場合は、之を賣却し、若しくは變更を來すが如き事無きを保證する事を要し、右目的の爲には税金該當額を供託するなり、再輸出品としての保證 (ボンド) を與へる必要がある。(特に直輸出に當り重量乃至數量に相違なき様充分注意すべきである) 右「ボンド」の手續は銀行が税關長の認證する一流商社を経て取付け得るが、商品の數量及性質に依り所要期間を異にし、數日を要するものと思へば間違ひない。而してボンドを要するときは通關業者を経て手續を取ると早く片附く。商品見本は賣却することを得るが、その場合は該當税金額をボンドから差引く。

見本を一港から他の一港へ移動させるには税關當局へ特別の申請を爲すことを要し、その積出は外國貿易港と認められてゐる開港場から行はねばならぬ。尙見本を陸揚港以外の港から國外に搬出する場合には、積出港の税關は輸入に當り旅商が入手した表の複本と照合して荷物を検査し、ボンド解除の爲之を輸入港の税關に送付する。

廣告用品 旅商が携行するカタログ、カレンダー等の廣告物件は一定量を限り無税で通關を許される。然し乍ら廣告用品で、無料配布の目的が明かな場合でも、當該品が一定價格を有するものであると課税問題を惹起し、斯る場合は税關検査官の査定に俟つことを要する。

五、販賣地域其他

デレクトリー 一般デレクトリーにはリマのラスカノ書店 (Liberia Lascano, Ica No. 134, Lima) 発行のラスカノ案内 ("Gua Lascano") があり、又工業者名簿には工業協會 (Sociedad Nacional de Industrias, Villalta 284, Lima 若くは Casilla 632) 編纂に係る Gua Fabril del Perú が刊行されている。

買付季節 棉花の收穫及甘蔗の挽搗は一年中を通じて行はれるので、業者が一齊にストックを充足する一定の買付シーズンと稱すべきものはないが、四月から八月に至る間が最も活潑な時期である。百貨店、食料品輸入商、玩具、新案品商等は主要賣出時期である謝肉祭 (二月乃至三月)、七月二十八日の國際日、クリスマス及四旬齋等を前に控へた頃注文するのが例である。農耕器具類、或種の工業用機械等は何時でも賣れるし、木材業も十二月から四月迄が稍季節的に活潑であるが概して一年を通じ動きが少い。當國は南半球にあるから薬品の如きも冬季用は十二月から四月、夏季用は五月から十月の間に發註される。紙及紙製品は一年を通じて仕入が行はれ、自動車もむらがないが、貨物自

動車は一月から三月に至る雨季には賣行が鈍る。

カリヤオリマ地方 國の中央部を形成する此の地方はペルー國中で最も大切な市場で、人口約二百三十萬の當地方人の購買力は他地方に比較して餘程大きい。カリヤオはヴァルパライソに次いで南米西岸に於ける近代的施設を有する港市でペルー外國貿易の六割乃至七割は同港を通じて行はれる。外國旅商が訪問を希望する如き種類の商社はリマ市にあるので、之等旅商はカリヤオに上陸するや直ちにリマに向ふのが常である。中央地方は素より國內全體に對する賣捌き及注文取りは、飛行機、鐵道及船舶によりリマを中心として充分之を行ふ事が出来る。諸官廳を始め重要商社、鑛業會社、農事會社乃至工業會社等は殆ど大部分本店を同市に置き、諸官廳の諸購入並に各種會社或は諸企業の買付は主にリマで取行はれる。而して主要販賣會社、卸商、仲買商等はリマに本店を置き各地の支店又は旅商若しくは通信により國內全般に亘つて取引する。多數有力商社は全國總代理店の資格を與へないと契約を拒絶する事があるから、外國旅商は他地に代理店を設置するに先立ち、先づリマに赴くべきである。

南部地方 同地方の人口は約二百三十萬で、その購買力は前記中部地方に次いで國內第二位を占めてゐる。當地方の主要港はモリエンドであるが、ポリヴィア向の商品も多量に同港經由で輸入される。南部地方第一の商業中心地はアレキバであつて、同地の有力卸商は直輸入業を營むと共に、或商社は當方面の主要物産である羊毛、獸皮を輸出する。且又アレキバは國內第二の工業中心地で、紡績、製靴、鑄造等の工場がある。尙當地はポリヴィアのラ・パス

への開門を扼してゐる。

北部地方 北部地方にはクララ、パイタ、ピメンテール、エテン、ペカスマヨ、サラヴェリ、チンボテ等の商港及チクラヨ、トルヒリ、ピウラ等の商業中心地があり、その人口は約百三十萬といはれる。當地方は商、工業共當國第三位を占め、主要物産は棉花、石油、砂糖、獸皮及鑛産物等である。トルヒリはチクラヨの勃興により現在あまり振はず、後者は豊饒な農業地帯の中心地として近來頗に股賑を加へてゐる。リマの有力商社中當地に支店を有するものが數社あり、現地にも直輸入商があるが、外國商社ではリマに於て北部地方を受持つ代理店が見つからぬ限り、當地に代理店を設置する事は稀である。ピウラは同名州の首都で、附近にロピトス(Lobos)その他の油田を控へる産油地帯の中心地であるが、輸出入貿易は八、九の外國系商社に依り行はれてゐる。

アマゾン地方 アマゾン河流域地方の人口は僅々三十萬そこ／＼で、一人當りの購買力もペルー國各地方中最低である。アンデス山系に依り他地方と隔絶されてゐる當地方は前記三地方とは獨立に考慮すべきである。リマと當地方の中心地イキトスとの間は航空路の開設以來僅か數時間に短縮されたが、取引高に比し旅費が引合はぬ嫌がある。ペルーの諸港からイキトスへはパナマ運河及アマゾン河を經由する航路があるが、重量の嵩む貨物に對する經濟的の輸送路を缺いてゐるので、イキトスとの取引はマナオス若くはバラ等のブラジル側アマゾン流域の地點に設置してある代理店に受持させるのが最も合理的である。

六、其他の参考事項

旅行最適時期 氣候の見地から言つてペルーへの旅行は四月乃至九月の間が最も好適であらう。右期間にはシエラ即ち山間地方への自動車旅行をも含み、ペルーの各地方へ旅行することが出来、且又商業の活潑な時期と一致する便益がある。當國の二大農産である棉花と甘蔗の收穫は殆ど一年を通じて行はれるので、労働者も年中仕事を缺かないが、綿花産業の繁盛期は四月乃至七月の三ヶ月間である。南部地方では一月及二月の羊毛刈込時期に於て商況が頂點に達するが、羊毛の市場搬入は五月迄繼續する。鑛物の産出は概して季節的變動がなく従つて就働並に勞銀の支拂も定期的に行はれる。

服裝 既述の通りペルーは熱帶國內にあるが、變化に富んだ地形とフンボルト寒流の影響を受け氣候も一樣でないから、旅行者は夏冬兩季用の服裝を用意し、外套も出来れば薄手のトップコートと厚手の冬物乃至レインコートを携行すべきである。一月、二月、及三月の三ヶ月間海岸地方に於ては白の夏服を着用するに越したことはないが、之は絶対必要といふ程ではない。ペルーのビジネスマン連中は一般に黒又は灰色がかった薄地の服を着、フルトの帽子を被る。又化粧品類は現地で大抵間に合ふ。飛行機旅行者の手荷物に對する無料輸送の制限は飛行距離に依り十五、二十乃至二十五疋である。

休業日 ベルリーの國教はローマ・カトリック教であつて、同教の祭日は一般に遵守される。左に掲げるのは公式に認められた國祭日及宗教上の祭日であつて、業務を休止する。尤も地方の小邑中には休業しない店もある。一月一日一月六日(主顯祭)、謝肉祭々日中の二日(毎年日取を異にする)、三月十九日(サン・ホセ祭)、聖週中の木曜及金曜コルプス・クリステイ(聖體祭)、六月二十九日(聖ペドロ及パブロ祭)、七月二十八、二十九及三十の三日間(獨立祭)八月十五日(聖母昇天祭)、八月三十日(リマ市聖ロサ祭)、九月二十四日(ランソム女神祭)、十月十二日(アメリカ發見日であり又民族祭でもある)、十一月一日(萬聖節)、十一月二十七日(國祭日)、十二月八日(聖母受胎祭)及十二月二十五日(クリスマス)。

營業時間 官廳及銀行は一般に晝二時間に亘り閉鎖し、午後は米國等よりもおそく迄仕事をする。一月乃至三月の夏季三ヶ月間に於ける業務時間は一日五時間とされてゐるが、店舗の營業時間は任意である。

ホテル

(リマ) 料金は最低八ソルより最高二十五ソルで、食事代を含んでゐる。マウリ・ホテル(Maury)はよく旅商の宿泊する比較的經濟的なホテルで、普通室一日四乃至六ソル(食事代を含まず)、食事附八乃至十二ソル、バス附の部屋は勿論割高である。ホテル・ボリバル(Bolívar)はリマの最も近代的な一流ホテルで、料金はバス附食事別十乃

至二十五ソル、食事附二十乃至三十五ソルである。尙市中には數多の旅商向ペンションがあり、料金は平均六ソル程度であるが、必ずしも空室があるとは限らなす。

- (アレキパ) キンタ・ハイツ・ホテル (Quinta Bates) アメリカーノ (Americano) フランシヤ (Francia) イングラチラ (Inglaterra) ノマ (Colón)。
- (チクラヨ) ロイヤル (Royal) エウローパ (Europa) イタリア (Italia) オリムポ (Olimpo)。
- (クスコ) フロカリル (Ferrocaril) ロイヤル (Royal) インペリアル (Imperial) カリフォルニア (California)。
- (ワンカヨ) コスモポリス (Cosmopolis) インテルナショナル (Internacional) プラザ (Plaza) ノマ (Colón) ロイヤル (Royal)。
- (イカ) フロカリル (Ferrocaril) ボリバル (Bolívar) インペリアル (Imperial) アメリカーノ (Americano)。
- (パカスタイヨ) フロカリル (Ferrocaril) セントラル (Central) パリス (Paris) ペラ (Pera) ヴェネチア (Venecia)。
- (クスコ) グラン (Gran) ピスコ (Pisco) ウンベルト (Humberto)。
- (ビウラ) ノマ (Colón) ロイヤル (Royal)。
- (トルヒーロ) パリス (Paris) グラン (Gran) ニューボ (Nuevo) アストロ (Astro)。

七、貨幣及爲替

ペルーの貨幣單位はソル (Sol) 略字は S/.) で、1ソルは百センタヴオス (Centavos) である。對米法定平價は〇・四七四一弗であるが、最近の時價相場は〇・二四弗内外である。ソル貨は一九三一年四月十八日法律第七二二六號を以て四二・一二六四センチ瓦の純金を含有することに決められたが、翌一九三二年五月十四日ペルーは金本位制を離脱した。當國の財政及商業其他總ての計算はソル貨で行はれる。金貨は流通せず、現に流通する貨幣及紙幣は左の通りである。

(銀貨) 一ソル及五十仙の二種あり、出國に當つては銀貨で二十ソル以上持出すことは出来ない。

(ニッケル貨) 二十、十及五の各仙。

(銅貨) 一仙及二仙の二種、銅貨は五仙迄法貨と認められてゐる。

(紙幣) 五、十及五十ソルの三種があつて、ペルー中央準備銀行の金預金を以て保證されてゐる。外國紙幣を輸入することは出来るが、國內に於ては流通しない。

八、重要商業中心地

アレキパ (Arequipa) 同名州の首都、海拔七千五百呎の高地にあり、人口は郊外を含めて約六萬、ペルー第二の都會である。モリンド港から南部鐵道で百七哩、六時間を要し、首府の東南七百四十六哩の地點にあり、バナグラの飛行機で三時間半 (料金百四十四ソル六十仙)、ペルーの航空會社機で平均五時間を要する。玉蜀黍、小麦、馬鈴薯、ユカ、果實、アルパカ及羊毛、獸皮、チョコレート等の集散地であり、紡績、皮革、罐詰、蠟燭、石鹼、製粉、麥酒等の工業が行はれる。當地は南部ペルーの最も重要な中心地で、外國商社の代理店も少くない。氣候は概して良好で年平均温度は華氏五十八度内外、十二月から三月末にかけて雨が降るが豪雨は少い。モリンドからボリヴィアの首府ラ・パスに行く旅行者は當地を旅行の中繼地とするのが普通である。

(銀行) 伊太利銀行 (Banco Italiano)、獨逸大西洋銀行 (Banco Alemán Transatlántico)、ギブソン銀行 (Banco Gibson, S. A.)、ペルー國際銀行 (Banco Internacional del Perú)。

(市街交通) 市内電車が有り料金は十仙。タクシーは市内一人五十仙、二人八十仙、一時間三ソル。

アヤクチヨ (Ayacucho) 同名州の廳所在地、リマの東南方三百六十哩の山間に位し、ワンカヱリカ迄鐵道が通じてゐるが、同地からは自動車で達する。各種礦産物、野菜、果物等の集散地である外、銀細工、敷物、陶器等の名産地である。

カハマルカ (Cajamarca) 同名州首都、海拔九千呎、人口一萬五千。リマの北方約四百八十哩、北部山間地方の中

心地である。

カリヤオ (Callao) 當國の表支關をなす港市で、人口七萬五千を算し、市況活潑である。首府リマとの距離は八哩で汽車、電車が通じてゐる外、三條の立派な自動車路がありバスが走つてゐる。タキシードは四ソル、電車は二十五仙、三十分で達する。一九三五年新埠頭が出来上り、船は棧橋に横着になる。船客の荷物は波止場に揚荷された後フレテロ (Fletero) と稱する荷物取扱人を雇ふことになつて居るが、その料金は手提鞆七十仙、トランク類一ソル半である。通關が済めばフレテロはカリヤオ及リマ市及郊外のホテル若しくは旅客の希望するアドレスへ荷物の配達をする。

(ホテル) イタリアノ (Italiano)、インテルナシオナル (Internacional)、リヴァ・パラセ (Riviera Palace)、ブリストル (Bristol)、ヘル・ソル (El Sol) 等があるが、一流ホテルと稱する程のものはなく、旅商は概ね上陸後リマに行き同地のホテルに宿泊する。

(銀行) イタリア銀行 (Banco Italiano)、ペルー・ポプラー銀行 (Banco Popular del Perú)、リマ貯蓄銀行 (Caja de Ahorros de Lima) 等がある。

セロ・デ・パスコ (Cerro de Pasco) フニン (Junín) 州々廳所在地、海拔一四、二〇八呎の高地にあり、人口一萬八千、氣候寒冷で年平均温度華氏四〇度、鑛業の中心地である。首府より二二〇哩を距て、中部鐵道でオロヤに至り

同地から更にセロ・デ・パスコ鐵道で到達しその所要時間は十五乃至十六時間である。比較的交通不便な高地に在る割合には市況は活潑で、直輸入を營む商社もある。

(ホテル) ウアリヤガ (Huallaga)、ベネシア (Venezia)、アメリカ (America)、ボリヴァル (Bolivar)。

チクラヨ (Chiclavo) ランペイケ (Lambayque) 州首都、人口二萬五千。外港ピメンテルより八哩。鐵道が通じ、リマからは飛行機便がある。當地は北部ペルーの重要商業中心地で、附近は豊饒な米及砂糖の産地であり、トルヒリの殷盛を奪つて近年急速な發展を遂げた新興商市である。

(銀行) イタリア銀行、獨逸大西洋銀行及インテルナシオナル銀行の支店がある。

クスコ (Cusco) 同名州々廳所在地、海拔一一、四四〇呎、人口約三萬。モリンドより五百六哩、南部鐵道で二日かかる。同州の主要産物である羊毛、獸皮、コカ、カカオ、ゴム、ラム酒等の集散地であり、紡績、製粉、石鹼等の工業が行はれる。當地方の住民は大部分インカ族の印甸人であつて、クスコは舊インカ帝國の舊都であり、附近にはインカ文明を偲ぶ遺蹟が多く、觀光客が跡を絶たない。當地への旅行は長時間を要するので、外國商社の旅商は餘り巡廻せず、アレキバ乃至首府の代理店に商賣を委せるのが普通である。

ウアンカヨ (Huancayo) フニン州にあり、モンタロ河に臨み中部鐵道とウアンカヴェリカ鐵道の分岐點であり、リ

マからは中央公路が通じてゐる。人口約一萬七千、鑛業及農牧業の中心地であり、原住印甸人の市が立つので有名である。外國貿易は主としてリマの輸入商又はセールスマンに依り行はれる。

イカ (Ica) イカ州の首都、同名河に臨み人口一萬三千、リマから飛行機で一時間半、自動車でカニエテ (Cajete) 經由七時間乃至八時間で到達する。附近は肥沃な棉花及甘蔗の産地で、當地には紡績、醸造、製油等の工場がある。輸入貿易は主として外國人系の商社の手中にあるが、リマからの交通が比較的便利なので外國旅商が頻繁に來る。

イキトス (Iquitos) アマゾン河の上流、河口から二千三百哩の地點にある河港で、ロレト州 (Loreto) の州廳所在地である。人口約一萬五千、ゴム、象牙椰子、棉花、バラタ、チクレ、米その他の集散地で、當國アマゾン河流域地方の要衝である。リマから當地に達するには、先づ汽車でオロヤに出で次いでサシ・ラモンに至り、更に同地から海軍飛行機に便乗するか、若しくはカリヤオから海路パナマ運河を經由し、更にアマゾン河口のバラに出で、同河を溯航、マナオスを経て漸く達するのであつて、當地での取引高を以てしては到底前述の如き長途の旅行に値しない。従つてイキトスはヘルー領にあるが、同地との取引はブラジル、特にアマゾン上流地方を巡廻する旅商に行はせるのが通例である。

(ホテル) ヲラン (Maldon) ˙ パラセ (Palace) ˙ コスモポリタ (Cosmopolita) ˙ パテルナル (Paternal) ˙ シック・パリスィアン (Chic Parisien)。

(銀行) 伊太利銀行、倫敦及南米銀行、獨逸大西洋銀行の代理店がある。

リマ (Lima) 共和國の首府でありリマ州の州廳所在地である。海拔五百呎リマック河 (Rimac) に臨み、人口約三十萬、外港カリヤオより八哩を距て、兩地間には汽車、電車及自動車の便がある事は既にカリヤオの項に於て述べた通りである。又兩地間にはオリヴァル・デ・サン・イシドロ (Olivar de San Isidro) ˙ ミラフロレス (Miraflores) ˙ バランコ (Barranco) ˙ チャリリス (Chorrillos) 等の郊外地がある。リマを中心として中央公路、南北海岸公路等の自動車路があり、前者は中央鐵道と略々併行してオロヤ、セロ・デ・バスコ、ワンカヨ、ハウハ (Huancayo) 等に達し、後者は北はアンコンより更に北方に延び、南はカニエテを経てビスコに達してゐる。當地方の主要農産物は棉花、砂糖、果物、野菜等であり、リマを中心として行はれる工業には綿毛紡績、棉實油、製材、製粉、麥酒、製靴、石鹼、セメント、硝子、菓子類、木製品、タイル、藥品及化粧品、銀細工、煙草、各種食料品其他がある。

(ホテル) ボリヴァル (Bolivar) ˙ マウリ (Maury) ˙ プラサ (Plaza) ˙ フランシア・エ・イングラテラ (Francia e Inglaterra) ˙ グラン・レオン (Leon) 等。

(銀行) ヲルー國際銀行 (Banco Internacional del Perú) ˙ ヲルー中央準備銀行 (Banco Central de Reserva del Perú) ˙ 農業銀行 (Banco Agrícola) ˙ 農業信用銀行 (Crédito Agrícola) ˙ 貯金金庫 (Caja de Ahorros) ˙ 勸業銀行 (Banco Central Hipotecario) ˙ ヲルー・ポプラー銀行 (Banco Popular del Perú) 等の内國銀行の外、外國銀行には紐育ナショナル・シティ・銀行 (National City Bank of New York) ˙ カナダ・ロイヤル銀行 (Royal Bank of Canada) ˙

英・南米銀行 (Anglo South American Bank)・伊太利銀行 (Banco Italiano)・獨逸大西洋銀行 (Banco Alemán Transatlántico) 等がある。

(市内交通) 市内電車及バスが市内至る所に通じ料金は夫々十仙である。タクシーは市内一人五十仙、一時間三ツルである。リマの商業上に於ける重要性に就ては既に「五」「販賣地域」の當該項中に述べた通り、有力商社、製造業者、棉花及甘蔗栽培業社、鑛業會社、物産仲買業者、船會社等各般の企業經營會社は殆ど全部本社を設置してゐるし政府及軍部の購入物資等に関しても、他の何處よりも迅速且正確な情報を入力出来る。而してリマの輸入商、卸商又は販賣代理店は、その支店、旅商又は代理店を通じてペルー國內各地に賣込みを行ふ。

販賣乃至分配方法は商品の種類に依り規を一にしない。賣上高が多く常時緊密な管理を要する商品を取扱ふ外國商社は、リマに支店を置いて國內各地に店員を派遣する。又商社に依つては出張員を駐在させて、代理店と協同工作に當らせるものもある。

モリンド (Mollendo) 國の南部アレキパ州にあり太平洋に臨む港市で、人口約一萬一千、カリャオから四百八十里を距て、海路二十四時間乃至三十六時間を要す。南部鐵道の起點で、アレキパを中心とする當國南部地方及ボリヴェアへの支關口である。當港はペルー第三の貿易港であるが、外海に直面して居り風波荒く、入港船舶が遙か沖合に碇泊する爲貨物の積卸しに適しないので、ペルー政府は當港の北約六哩のマトラ=灣 (Matucani) に近代的の設備を有する港を建設する計畫を有し、既に約一千六百萬ソルの豫算を計上してゐるので、同港完成の暁には當港はその重

要性を過半失ふものと見られてゐる。尙我が日本郵船の南米西岸航路船は當港に寄港する。

(ホテル) フニコカリル、グラウ。

(銀行) 伊太利銀行、獨逸大西洋銀行。

パカスマヨ (Pacasmayo) リベルター州にある北部ペルーの要港で人口は僅かに五千程であるが、設備良好な埠頭を有し、グアダルーペ (Guadalupe) 及チレテ (Chilte) への鐵道の起點である。直輸入商が數軒あり、外國族商の來訪する者が少くない。

パイタ (Paita) 北部ペルー、ピウラの外港(兩地間の距離六十哩、鐵道の便がある)で、棉花、鹽、珈琲、煙草等を輸出する。

ピメンテル (Pimentel) 前項パイタとパカスマヨの中間に位し、チクラヨの外港である。

ピウラ (Pura) 同名州々廳所在地、人口約一萬五千、ピウラ河に沿ひ、外港パイタから鐵路三時間半で達する。棉花、穀類、畜産物の集散地であり、麥葉帽子、石鹼、蠟燭、製材等の工業が行はれ、附近にはロピトスの油田及大規模な農園があり、北部地方の一要衝である。輸出入貿易は主として外國系商社の手中にあるが、リマの有力商社で

當地に支店を有する者も少くない。

プノ (Puno) 海拔一萬二千六百餘呎の高地、ティティカカ湖畔に位し、人口一萬二千プノ州の首都である。プノは南部鐵道の終點で、モリメントより三百二十四哩、アレキパより二百十八哩を距て、ラ・パスへは湖水を縦斷し、グアキより更に鐵道で到達する。又リマからは毎日飛行便がある。當地附近は羊、アルパカ、ビクニヤの飼育が盛で、之等の獸毛、獸皮、穀類、金銀、珈琲等を産出する。

サラヴエリ (Salaverry) ラ・リベルター州にある一重要津で、トルヒリへ鐵道が通じてゐる。

タクナ (Tacna) 人口一萬四千、チリとの國境に近く、同國アリカより僅かに四〇哩、アリカータクナ鐵道で二時間て達する。當地方は元兩國間の國境劃定を繞る紛争地帯であつたが、一九二九年ペルーに割讓された土地である。バナグラ社の飛行機が發着し交通の要地となつてゐる。

タララ (Tarapaca) 國の北端エクアドルとの國境に接し、パイタより九十哩を距てる一重要港で、附近は有名な石油の産地である。グレイス・ラインの南航船が寄港する外、バナグラの飛行機も當地に發着する。

トルヒリ (Trujillo) ラ・リベルター州の首都、モチ・河畔に位し人口二萬二千、外港サラヴエリを距る事九哩、鐵道が通じてゐる。砂糖、米、珈琲、カカオ、棉花、穀類、獸皮等の集散地で、嘗ては北部ペルーの最大要地であつたが、近年チクラヨに勢力を奪はれ聊か頽勢に傾いてゐる。附近のチカマ地方には有名なグレイス (Grace)、ギルヂマイスター (Gildemeister)、オルベゴン (Orbegozo)、チクリン (Chidin) 等の甘蔗耕地がある。



欠

MISSING

コロンビア共和国

Republica de Colombia

一、地誌

位置及面積 コロンビア共和国は南米大陸の西北端に位し、東はヴェネズエラ、ブラジル、南はブラジル、ペルー及エクアドールの三國に接し、北はカリブ海に面し、西北方にはパナマ共和国が位置してゐる。面積四十三萬九千九百九十七方哩と推定され、海岸線は太平洋岸に於て九百十三哩、カリブ海岸に於て一千九十四哩を有する。

地形 地形は極めて複雑變化に富み山岳が全土を蓋ふてゐる。アンデス山脈の北端は三重要山脈をなし、コロンビアの地形に支配的な役割を果してゐる。そして山脈と山脈の間には肥沃な平原が散在してゐる。地形が變化に富んでゐる爲風光は明眉で華麗な熱帯の色調が美しい。

河川 マグダレナ河 (Magdalena) はコロンビア最大の河川で、アンデス山系が國內に於て形成する中央アンデス山脈及西部アンデス山脈の中間を南より北に向つて縦走し、國內通商路として大動脈をなしてゐる。全長一千二十哩

中九百三十二哩に亘る可航流域を有し、ホンダの激流地點を境として上部マグダレナと下部マグダレナに分れ、下部マグダレナ河はバランキリヤよりドラド迄大型河川用船舶を通ずる。上部マグダレナ河は吃水の浅い小型船舶を以てペルトランよりヒラルド迄航行し得るし、更にネイヴァに通ずる通路ともなつてゐる。

ヴェネズエラ國とはメタ河 (Meta) を通じて、オリノコ河に連絡し、それよりアマゾン本流に通ずるリホ・ネグロ河に出ることも可能である。

マグダレナ河に次いで通商上重要な河川はシヌー河 (Sinú) 並にアトラト河 (Atrato) 也、前者はモロスキリ・灣へ、後者はウラバ灣に注ぎ、流域各地の發展に貢献する所が大である。

カウカ河 (Cauca) はマグダレナ河に合流するので重要性が認められて居り廣大な二個の地域に船運を通ずる。その他交通上重要河川はパチア (Patria)・サン・フアン (San Juan)・スリア (Sulia)・グアヴィアレ (Guaviare)・レブリカ (Lebrija)・ネチ (Nechi)・サン・ホルヘ (San Jorge)・プンプム (Putumayo)・カケター (Caqueza) 等である。

主要地域 コロンビアは地勢上四つの地域に大分することが出来る。第一の地域は大西、太平洋を含む海岸地域で、第二は海拔三千呎以上の奥地帯にある低標高の山麓、山間の谿谷地域である。第三は六千呎以上の標高を有する低位山岳地帯並にアンデス山系の第一山脈地帯を含む地域であり、所謂珈琲地帯である。第四は海拔六千呎以上の高山高原地域を抄す。

氣候 氣候は前記の各地域によつて著るしく異つてゐる。海岸地帯でも太平洋岸とカリビア海岸とでは氣候の性格に明白な相違が認められる。即ちカリビア海方面では季節の變化が判然と認められ、十二月より翌年の五月迄は強烈な太陽が照射する乾燥期である。六月から十二月に至る期間は雨季である。太平洋岸に於てはフェナヴェンツィラを含む北部地帯に於て特異性を有し、熱帯特有の連日に亘る降雨と天候の急變とが見られる。兩海岸地帯ともに暑熱、高湿度が共通で温度は攝氏九十五度に達する。マグダレナ河谿谷地帯はヒラルドットの上流に至る迄氣候情況はカリビア海岸地帯と殆んど同一であり、たゞ上部谿谷は雨量がやゝ多く、季節は海岸地帯程正確ではない。

カウカ谿谷及アンチオキア全域を含む第二地域は、雨季と乾季が交互に毎年二回づつ訪れる。即ち一月から三月迄が乾燥期、四月から六月迄が雨季、七月から九月迄が再び乾燥期で十月から十二月迄に雨季が来る。十月乃至十二月は雨続きの天候で、特に十、十一の兩月が甚だしい。此期間は山岳地帯の道路の交通が杜絶する。毎日の平均温度は最高八四度最低七六度で、年平均七六度である。一年の最高温度は七月乃至九月である。一年の氣候を通観すれば亞熱帯性と言へやう。

第三地域に於ける氣候及乾、雨季は大體前記同様である。五千乃至七千呎地帯の氣候は理想的で一年を通じ氣温の變化も僅かで、平均最高七二度、最低五八度である。

第四地域に於ては海拔六千乃至九千呎の最高所では時に結氷を見ることがあり、平均温度は最低四十度、最高六四度である。季節の變化は明確ではないが、降雨は季節により若干の差はあるが概して多雨である。

人口及住民 一九三八年度調査によれば人口總數は九、一四八、九七〇人で八割はインチャン、黑人又は之等有色人種と白人の混血である。州別人口に於てはアンチオキア（百十九萬人）、クンチナマルカ（百十八萬人）の兩州が最大で密度ではアトランコ州の一平方キロ七十七人が首位を占める。

國語はスペイン語であるが歐洲移民が比較的少く、従つて他の中南米諸國に見られる如き移住者による言語の混亂から脱れ、今尙ほ往時のスペインの母國語を保持して居り、ラテンアメリカ諸國民中で最も純粹なスペイン語を話すと言はれる。

宗教の自由は認められてゐるがカトリック教徒が絶對多數を占めてゐるので他宗教の普及する餘地が無い。尙ほ住民の大部分は氣候良好な海拔四千呎乃至九千呎の高原に居住してゐる。

政治 三權分立主義を採用し、議會は上下兩院より成る。上院議員の定員は五七名で四年毎に改選される。下院は百十九名の議員を以て構成され二年毎に改選される。議會は毎年七月二十日開會する。

大統領は人民の直接選舉により選舉せられ任期は四年で、四ヶ年の期間を経ることなく再選は許されない。

行政機關としては外務、財務、國防、經濟、厚生、文部、通信、土木の各省があり、外に經濟會議を有し關係五大臣の外銀行業、農業、商業の業界代表者を以て構成されてゐる。

行政區劃は全國を十四縣 (Departamento)、四直轄區 (Intendencia)、六管理區 (Corrientes) に分ち、縣は自治の機能を有し財政、稅務に關し獨立決定をなすことが出来る。直轄區及び管理區はいづれも共和國中央政府が直接行政

を行ふ地方であるが、財政上の自治權がある程度認められてゐる。

之等地方行政區劃は更に郡組織に細分されてゐる。

二、産 業

農産 主要農産業は珈琲の栽培であるが、コロンビア珈琲は小農組織で育成され、年間を通じて採取が行はれてゐる點はブラジルとは正反對の行方をして居り、手入及び採實は極めて注意深く行はれ優良な珈琲を産出する。ブラジルの過剰生産から起つた價格暴落もコロンビア珈琲の取引には殆んど影響を及ぼしてゐない。一九三五年度調査によれば珈琲園十五萬、成育樹數五億三千二百二十萬と報告されてゐる。一九三八年の輸出は六十キロ入四、一二八、六二四袋で内三、二二四、六一〇袋は米國に、五七四、五八三袋はドイツに仕向けられた。

煙草の栽培は三七、二八一エーカーから一四、八二九エーカーを産出してゐる。(一九三七年調)。

棉花は一〇六、九七八エーカーからの産出一八、八四二エーカーである。(一九三七年調)。

その他農産物にはカカオ(一一、三九五エーカー)、砂糖(四三、四二八エーカー)、タダア・ナット、染料原材、大麥(四九三、二七二エーカーより九〇、七六八エーカー)等がある。

一九三七年度バナナの輸出高は六、五八五、一九二房に達した。

太平洋岸北部テコロ領域にあるソラノ灣にはコロンビア最大の植民地が開設された。

林産 森林の総面積は一億五千萬エーカーで、木材はマグダレナ河流域に無盡蔵にあるが殆んど産業として開發を見てゐない。

護謨は野生で採液されてゐるが産額に見るべきものなく、最近植材が行はれる様になつたが未だ論ずるに足りない。油脂採取用の木材も少なからずあるが、植林されてゐるものには香油原料木材がある。

畜産 家畜は一九三七年度調査によれば牛九、一六七、四五五頭、豚一、八六五、一八五頭、馬一、〇一八、二六七頭、羊九一三、九九三頭、山羊五六一、三九〇頭、驢馬八一五、九二三頭が存在する。

鑛産 鑛物は非常に豊富であり、就中金はアンチオキア、カウカ、カルダス、トリマ、ナリニ、チコ、クンディ、ナマルカに産し、一九三八年五二〇、一〇六オンスの産出を見た。

銀は一九三八年度一八〇、八八〇オンスの産出があり、その他銅、鉛、水銀、硫化第二水銀、白金等が豊富に存し、白金の如きは相當の採掘が行はれ、エメラルド鑛は政府直轄事業として開發され輸出を見てゐる。

その他鑛床の存在が確認されてゐるものに石炭、鐵、石灰石、硅石等があり、鐵工業の發達と共に開發が待望されてゐる。

シバキラの鹽山及びカリビヤ海沿岸の鹽田はともに政府の統制下に開發が進められてゐる。一九三七年の鹽産高は一六四、六三六噸である。

石油は一九三八年度に於て二一、六〇〇、〇〇〇バレルを生産し、その内一八、四五三、〇〇〇バレルは輸出されてゐる。

生産価格は一九三七年度一二一、七九九、五六四ペソで、主産品は鹽、寶石、石油である。又煙草工業価格は二〇、八八七、〇八五ペソ、織維工業生産價額二三、四九八、二九四ペソ、製粉業は二一、七九九、五六四ペソである。

三、交通、運輸及通信

海運 コロンビアの主要港市はカリブ海岸に於てはカルタヘナ、バランキヤ、サンタ・マルタ、太平洋岸ではプエナ・ヴェンツィラ、ツコマの諸港があり、歐米各國よりの航路が到達してゐるが、國籍別に解説すれば左の如くである。

英國系のローヤル・メール・ラインは英本國よりコロンビア國大西洋諸港及びパナマを経て中米各港に達する貨物線數線を經營して居り、太平洋汽船會社はリヴァプールを起點とし佛、西兩國を經由して西印度に達し、パナマ運河を通過して南米西岸諸港に至る線によつてコロンビア各港に寄港せしめてゐる。

北米合衆國はマンソン・ラインがニューヨークより西印度諸港連絡の貨客船航路を有しコロンビア諸港と連絡し、グレース・ラインはニューヨークとチリを連絡する貨客航路を經營しブエナヴェンツィラ及びグアヤキルに寄港せしめ、ユナイテッド・フルーツ汽船會社はニューヨークよりジャマイカ經由コロンビアに達する優秀貨客船航路を經營しパナ

ナの輸送に當つてゐる。又コロンビアン汽船會社はニューヨーク、ハイチ、コロンビア諸港及パナマ間に航路を經營、
ニューオルレアン南米汽船會社のニューオルレアンよりチリに至る航路はコロンビアに寄港する。

ドイツはホール・ラインをしてハンブルグを起點とする西印度、コロンビア、ヴェネズエラ各港への航路を有し、
ランド・リニー社も西印度及び南米西岸方面への航路を經營してゐる。

イタリア合同航路はジノアより地中海諸港、英領トリニダット、ヴェネズエラを經由してコロンビアに達する航路、
パナマ運河經由チリ國ヴァルパライソ航路を運營してコロンビア國に寄港せしめてゐる外、ラ・ヴェロチエ社も亦南
米西岸に貨客船を配してゐる。

その他オランダも亦コロンビア寄港航路三線を經營してゐるが、スペイン、ノールウェー、スエーデン、ベルギー、
デンマーク、フィンランド等もそれぞれ航路を有してゐる。

又我が日本郵船會社南米西岸航路船もブエナヴェンツィラに寄港することとなり兩國の通商關係に寄與する處大な
るべきが豫想されてゐた。大阪商船會社の南米航路線に依りパナマで乗替へてコロンビア太平洋岸又はカリビヤ海沿
岸各港に向ふ經路もある。

以上に依つて見らるる通り、我が國に於て想像せられるのは異りコロンビアと歐洲並に北米合衆國との船舶によ
る連絡は極めて發達して居り、經濟、文化兩面ともに歐米大陸の影響を蒙ること大なるものがある。

次に國內水路に就て言へば、コロンビアの國內交通は河川に負ふところが極めて大であり、未發達の鐵道、道路に
代つて政治、經濟上重要な役割を演じてゐる。此點米洲第一の河川國で可航河川水路は十四を數へ、就中マグダレナ

河の恩恵は極めて大なるものがあり、國內十縣が同河の可航流域内に存在してゐる。一九四〇年度統計に依ればマ
グダレナ河を通じて行はれた旅客運送總數は三十五萬三千七百九十二人に達し、荷物運搬量は五十五萬三千九百八十八
噸である。

鐵道 コロンビアの鐵道事業はその山形に阻まれて、工事費が非常に高價な爲容易に發達せずにある。一九四一年
六月現在鐵道延長は三千二百四十七キロで、この外目下工事中のもの約二千キロ餘に及ぶ。一九三八年度調査によれ
ば二十二線の中十三線コロンビア系、九線英國系となつてゐるが一九四一年度には二十五線中英國系二線、米國系一
線と報告されて居る。コロンビア名物であるマニサールレスとマリキタを結ぶロープ・ウェイの如きは世界で最も長距離
のものとして知られてゐる。

主要幹線は太平洋岸のブエナヴェンツィラ港と奥地を結ぶ線で、ブエナヴェンツィラ、カリ、マニサールレス、マリ
キタ、ヒラルド等を経て首都ボゴタに通じ、更に奥地のバルボサ、ソガモソ、ネイヴァの各市と連絡してゐ
る。別にマリキタよりホンダを経てラ・ドラゲ市に通ずる路線、ラ・ドラゲよりマグダレナ河を下降してボルト・
ペリオに達すれば、同所からメデリンに至る鐵道とも連絡が可能であり、カルタヘナよりカラマル（マグダレナ河に臨
む港市）に至る線、サンタ・マルタ港よりフングシオンに至る線、ボルト・コロンビアよりバランキリヤ港に至る線等
も經濟上の重要性を有してゐる。

運賃は大統領令を以て規定され、一九四〇年度の旅客運賃はキロ當り〇・〇一ペソ、貨物運賃は噸當り〇・五六ペソ

で、同年度輸送旅客数は一千三百萬人、輸送貨物量は三百十四萬噸である。

道路 道路も亦鐵道と同様建設費が高價なため建設困難を極めてゐるが、政府は一九三二年道路及鐵道整備案を樹立し鋭意建設に従ひ、既に計畫の六〇%以上を完成した。一九四〇年度自動車道路延長一萬二千五百五十一キロ、施工中のもの一萬五百二十キロである。右の内國道は八千九百九十一キロ、縣道は四千三百六十キロである。國道中シモン・ポリヴァル幹道は全長三千六百八十キロに及びカラカス市を起點としてエクアドル國グアヤキール市に達する國際道路であるが、コロンビア國側は既に工事を終つた。又汎米道路も工事進行中で速からず竣工を見る豫定である。自動車数は乗用車一萬二千六百臺、バス三千臺、トラクター六千五百臺である。

航空路 コロンビアの航空事業が本格的發展の歩を踏み出したのは一九二五年北米より機材の供給を受けて以後の事である。一九三四年の旅客輸送数は一萬一千四十三人、貨物輸送量は一千三百九十八噸であつたが一九三七年には四萬二千六百人、四千五十一噸と躍進し、一九四〇年には五萬三千三百五十四人、五千六百五十噸に激増してゐる點から見て、コロンビア航空業發達の過程が窺はれる。

外國との航空機による連絡は、パナグラ社(Pan American-Grace Airways = Panagra)の經營するパナマよりチリに向ふ航空路がコロンビア領内(サラナ灣及びツマコ市)を通過する。同社經營支線はブランキリヤ、カリ、ツマコを通過しコロンビア航空會社ラ・アヴィアンカ(La Avianca)社線と連絡し國內各地に達する様になつてゐる。

又一九二七年南米航空網を創設した汎米航空會社(Pan American Airways)の航空路中ポート・オブ・スペイン――

タリストバル線は三週間毎にカラカス、ラ・グアイラ、マラカイボを結びコロンビア國バランキリヤ市に着陸するので之を通じて北米マイアミ又はロサンゼルス方面へ連絡し、ニューヨークへは二日の行程である。

國內空路は現在アヴィアンカ社とアルコ社の二航空事業會社によつて維持されてゐるが兩者とも國家の統制下に置かれてゐる。

運輸 運輸はコロンビア國經濟上最も重要な問題であり、國內開發、物資の移動、海外との通商貿易等はいづれも運輸問題の解決如何にかかつて居り、政府も交通運輸路の開發に鋭意努力中であるが、地形上鐵道、道路の開設に多額の資金を要するので計畫遂行上非常な困難を感じてゐる。外國資本の投資を歓迎してゐるが、建設費高額に禍されて外資誘入は容易でない。輸送上航空業の發達には見るべきものがあるが、之を以て物資の運搬を大量に行ふことは不可能であり、依然として河川を利用する交通路線が重要性を有し、河川と河川の間を連絡する程度の鐵道及道路の建設が進行してゐるに過ぎない。

郵便、電信及電話 日本よりコロンビアへの郵便経路は北米及パナマ經由によるの外はないが、約一ヶ月を要し、航空郵便を利用する場合は凡そ二十日位を見込めばよい。

國外との電話通信はラチオによる外有線による交信も可能で南北米、英國相互間に行はれてゐる。マルコニー電信會社はボゴタ市に本據を有し、國內及び國外の電信業務を行つてゐる。

四、取引事情

貿易事情 一九三一年以來外國との通引は總て政府の統制下に置かれペソ價の對外價値の安定に留意してゐる。左に近年の貿易額を表示する。

年次	入(ペソ)	出(ペソ)
一九三七	一六九、六八〇、一三二一	一五二、一六八、五六〇
一九三八	一五九、二五二、九一六	一四四、四四六、三九六
一九三九	一八三、四六一、一六二二	一三六、四七一、四四八
一九四〇	一五一、七三七、〇〇〇	一五一、七三七、〇〇〇

主要相手國取引額は左の通りである。(一九三七年度)

國	入	出
北米合衆國	八二、〇一九、九六二	八六、〇七五、五八九
英 本 國	三一、九六八、九七二	一八、九二一、三四三
ド イ ツ	二二、七五三、七〇五	七、五七四、四三二
フ ラ ン ス		

主要取引商品は一九三八年度に於て輸出品では珈琲(八八、七七五、三二九ペソ)、石油(三七、二〇六、四六二ペソ)、バナナ(八、八八三、八七一ペソ)、白金(一、六五〇、七二九ペソ)、獸皮(三、八七六、二五八ペソ)、金(米國のみ)輸出、一八、七八〇、〇〇〇ペソ、である。

之が一九三七年以來の増減に就て考察すれば珈琲は一九三九年度に於て三百七十萬俵であり平年より約五十萬俵減を示したが一九四〇年には四百六十七萬俵と増進し、石油は逐年増加の一途を辿つて、一九三七年度一千七百七十四萬三千樽の輸出が一九三八年は一千八百五十樽、一九三九年度に一千九百四十萬樽、一九四〇年二千三百九十萬樽と累進し素晴らしい發展振を見せてゐる。その他の品目では金は一九三八年度三十萬トロイ・オンスの最低位を示した外は一九三七年五十二萬トロイ・オンス、一九三九年六十六萬二千トロイ・オンス、一九四〇年六十八萬三千トロイ・オンスと増加し、白金は一九三七、三八兩年とも二萬九千トロイ・オンス一九三九年二萬三千と減少し、一九四〇年度三千九百トロイ・オンスに落ちてゐる。バナナの輸出は年毎に著しい相違はあるが十五萬乃至十九萬トンの間を上下してゐる。皮革も大體七千トン平均の輸出を示してゐたが一九四〇年度には三千八百トンに減少してゐる。即ち主要商品の占むる輸出割合は珈琲六三・八%、石油二三・四%、バナナ六・四%、白金〇・八%、皮革二・七%、其他二・九%となり、珈琲及石油のコロンビア國經濟に於ける地位が明白となる。因に珈琲輸出の七七%は米國向けで石油は全

輸出の五二%がアルバ及クラサオ島の精製工場へ送られてゐる。

輸入品目は繊維製品(三五、八六九、四一〇ベソ)、金屬製品(七、五〇一、四六五)、輸送機械(一一、二一〇、二一四五)食料品(四、〇八〇、二三三ベソ)、化學製品(一一、七六九、七一五ベソ)、機械(二九、〇六四、一一三ベソ)である。

以上に依つて明かなる如く歐洲戦争の勃發に伴ふ著しい貿易情勢の變化が、コロンビア國經濟に及ぼした影響は甚大であるが、政府は此新たな状況に對應するため通商政策に種々の改善を加へてゐる。

即ち一九三九年十二月には産業開發上不可欠の原料、機械類、藥品の輸入並に爲替管理諮問委員會が右の目的の爲必要と認める品目の輸入に對して優先權を附與することを規定し、又大藏省は同月輸入關係書類の紛失その他より生ずる不便救済のため暫定措置として、戦時稅關手續を制定してゐる。特に珈琲の暴落に對しては、輸出入爲替の均衡維持並に爲替相場の安定が困難となつたので、一方に於ては一九三八年十一月共和國銀行内に設定された爲替安定資金を外貨取得に流用し得ることとするための改正法を定め、他方輸入爲替制限強化に關し、必需商品別制によつて爲替の配分を決定するに至つた。此結果我が輸出品中電球、綿製紐類、綿縫糸、齒ブラシ、鉛筆、眼鏡及レンズ等は第一種、陶磁器類を第二種として優先支拂が認められたが、第三種及第四種となつた綿製靴下、同ゴム入衣類、絹及綿製下衣類セルロイド製品、玩具、小間物類、綿布等の輸入代金支拂許可は後廻しとなる等の影響を蒙り、之が調整に就て考究せられつゝあつた際大東亞戦争の勃發となつたものである。

日本よりの有望輸出品としては塗料、紙類、インク、魚油、毛絲、毛織物、鐵製品等である。

通關手續 輸出入共に通關代理人に通關手續を依頼するのが一般輸出入業者の商習慣になつてゐる。通關代理人は運送業を兼ね、荷物の運用に關する限り信用絶對とせられてゐる。代表的通關代理人は左記の如きものでベランキリヤ、カルタヘナ、ボゴタ、メデリン、カリ、ボエナペンツラ等に支店を有し其の他全國各都市に支店或は代理店を以て全國各地に連絡を有す。

Eduardo Gerlain & Co.

本店 バランキリヤ

C. Duque Gomez & Cia.

本店 メデリン市

Roldan Calle & Cia.

輸出 コロンビアより輸出せんとするときは稅關に提出すべき輸出申告書に爲替管理局の輸出許可書を添付することを要する。右輸出許可書を取得するには爲替管理局に銀行信用狀を銀行經由にて提出する。即ち銀行に手續を依頼する必要がある。若し信用狀なく輸出するときは爲替管理局に對し輸出品價額の二倍(爲替管理局の見込により減額する事あり)に相當する金額を共和國銀行に供托し、同時に輸出品價額の外貨を六ヶ月以内に共和國銀行に賣渡す銀行保證狀を提出する事を要する。之は資本逃避を防ぐ目的である。尙ほ大東亞戰數ヶ月前、米の指金によりコーヒを除く主要産品層鐵其の他の米州外輸出禁止令が發布せられた。

輸入 輸入手續は本船入港後三日以内に左記の書類を税関に提出することを要する。遅延に對し一キロに付一日三仙の割合を以て罰金を課せられる。

- イ、船荷證券 原本
- ロ、領事送狀 同
- ハ、原産地證明書 同
- ニ、爲替管理局輸入許可書
- ホ、商業送狀

領事送狀には輸入税率適用番號を各項目毎に附する規定なるが此の番號は必ず輸入業者の指定番號を記入する事日本よりの輸入に關し屢々起る苦情問題は船積書類の延着である。此の延着が一週間以内なれば、荷受人はぐすぐす云ひながらも罰金を拂ふが、其れ以上延着すると罰金は最低五十ペソ位になる。(日本金百二十圓、換算對米 23% ペソ貨は米に對し 175)。此の場合には大抵の荷受人は手形の支拂に際し其の罰金を差引きたがるので常に面倒が起る。此の原因は勿論郵便の遅延に依るが、其の上に書類は銀行に送附せらるゝので、銀行でも種々の手續があるから通關代理人の手許に着くのに手間取るのは當然である。又銀行は此等の手續に關し親切であるとは考へられぬ場合が少なくなし。

書類延着の責任は原則として輸入業者が負ふべきものなることは明らかであるが参考としてポゴタ貿易斡旋所よりポゴタ商業會議所に照會したところ次の如き要領を得ざる返書を受けてゐる。

即ち出荷人が荷受人の指圖通り船積をした場合には、延着の責任は荷受人に於て負ふべきであるが、然らずして書類を銀行に廻すのに手間取り銀行で直に書類の發送をせざりし場合は出荷人の責任である。

何にしても此の問題は飛行郵便の發達と共に著しく改善せられたが、常に起き得る問題故特に注意を要する。最善の方法はコロンビアの商習慣に従ひ、通關代理人を荷受人とし、銀行の指圖に依つて輸入業者に荷物を引渡す方法で日本の輸出業者は手形を船積書類の寫を以て取組む様に銀行と協定する事なく、此の方法なれば荷受人側に於て書類延着の苦情申立の理由は成立せず頗る好都合である。然し實際問題として手形取組手續上實行には困難あるべく豫想される。

取引商習慣 元來コロンビア内地の取引は、殆んど全部延取引と云ふも過言にあらざるべく、現金取引と云はるゝものも三十日以内に支拂はるゝ商習慣があり、六十日、九十日の掛賣が普通で、實際支拂はるゝのは六十日は九十日に、九十日は百二十日になるのが普通である。従て輸入業者も出来るだけ長期日の支拂條件を希望して仕入即ち輸入をなしてゐる。現に英國の木綿及毛織物輸出業者はコロンビアの一流商社に對してはクエンタ・コリエンテ Cuenca Corriente 即ち當座勘定取引と稱し無爲替無條件で出荷し、輸入業者の都合良き時に六ヶ月以内に支拂はしむる寛大な條件で取引をしてゐる。六ヶ月後支拂の遅延に對して年利息八分より一割を徵集する。英國業者の説明に依れば織物類は利益少なく、尙コロンビアの輸入高税率を以てしては一千磅の輸入は二千磅の輸入になり、參着拂の如き條件では英國工場の希望する數量を輸入し得ず、結局當座勘定取引が相互の利益で、一見危険なる如き憾があるが元來が

信用づくの取引なれば支拂が多少遅延する事があつても、危険は寧ろ總ての意味に於て少いと云ふ。勿論織物以外の商品取引は殆んど参着拂である。然し乍ら此の英國業者より與へらるゝ信用を悪用し、他方に於て多額の仕入をなし機を見て金融梗塞を理由に清算をなすと稱し、巨萬の富を作つたものも多い。最近政府は英國は賣るのみでコロンビア産品を買はぬ爲め片貿易が甚しいとの理由に基き、英國向け爲替買入れを禁止した爲め英國よりの輸入が杜絶し、輸入業者は在荷激減に悩んで居た。但し此れが爲め原料をアルゼンチン國及びブラジルに求め國內の織物工業發達は見るべきものがある。

ドイツとの取引は往時より一種の委託販賣的取引をなし、賣上を隨時送金なさせしめ或はコーヒ、牛皮、白金、アイポリナット其の他の産品を以て支拂に充當してゐた。現在に於ても即ち戦前迄は此の求償的貿易商社が存在した。右の理由で歐洲向け輸出では、ドイツは斷然英國其他を凌駕してゐる。

米國の輸出業者は前拂、信用状又は最良の條件とし参着拂の取引をなし信用を與へず、例外として米國に於ける信用保證協會加入の輸出商社は D/A 手形にて取引してゐたと云ふ。但し保證率高く商品も従て高價になる。

對日本取引 コロンビアに於ける日本品の本格的輸入は昭和二年及三年兩二回に商工省主催の旅商班に依り紹介せられたのに始まる。以來日本品がコロンビアに最も適してゐる點を證せられ、當時の爲替安に怒濤の如き勢で輸入せられ、取引條件も殆んど全部 D/A 手形取引で、其れが主因をなし、他の何れの輸出國よりも最も多く種々雑多の苦情が續出した。昭和五、六年頃には各都市の商店の飾窓は殆んど全部安價の日本品を以て飾られ、歐米品は完全に飾

窓から驅逐せられた。斯て一般輿論は期せずして日本に對し求償貿易制を適用すべしと一致し、新聞紙も日本品を問題視し、趣味の下落甚しき爲黄禍論さへ唱へたるものがある。其の結果通商條約の破棄となり、求償制度適用せらるゝに到つた。其の當時今少し早く日本に輸出入組合が結成せられ、コロンビアの産品を適當に買入れ、日本よりの輸出に多少の統制をして居れば其の當時の外貨獲得を其れ以上に有利にし得た事は確實である。昭和十五年頃、歐洲戰爭の爲め歐洲よりの輸入殆んど杜絶し、原料品不足に悩み遂に日本よりの輸入を原料品に限り許可するに到つた。

(代理店に對する口錢問題) 日本との取引に關し種々雑多の苦情があつたが其の内でも屢々聞く苦情は、日本商社は一般に代理店に對する口錢の支拂振りが頗る悪いと云ふ事である。此の口錢なるものは使用人の給料に相當するものであり、且つ又有力な代理店は副代理店を有し、口錢の立替をなす關係もあり、検討する必要がある。

五、旅行の注意

旅行の適期 コロンビアの商期には特に限定された期間が無く、一年を通じていつでも取引可能であるが、特別賣込みはクリスマス用品の販賣である。クリスマス用商品の發註は通常八月乃至十月に行はれるから注意を要する。購買力の源泉をなす珈琲採取はブラジルなどとは異り年間を通じて絶えず行はれるが、特に活氣を呈するのは五月、六月、十月、十一月、十二月、一月である。

氣候の上から見ればコロンビアの人口の大部分が年中春暖の氣候を保つ高原地帯に居住する關係上特に避くべき時

季はよい。

服装 海路入國の場合は低地帯の港市等に於ては暑熱に堪える服装等の準備が必要であるが、首府ボゴタを始め主要都市は概ね高原地帯にあるので、熱帯地域にも拘らず朝夕冷涼を覚えることが屢々あるので、気温の低下に對しての備へとして外套等を用意するがよい。又雨期にはレインコートの必要ある事勿論である。航空機による旅行の場合は高度の激變に伴ひ気温の急變があるから前記同様薄手の外套などを持参することを勧めたい。

入國手續 旅券の査證は入國査證二弗（上陸の際税關で徴收する）、通過査證二〇セントで、提出書類は健康診断書、種痘證明書、身分證明書、善行證明書、寫眞三枚であるが、普通入國者は領事館より本國政府の許可を取付けた上で査證がなされる。觀光客として入國する場合は出發前觀光査證の外に領事館より「觀光客證明書」の下附を受け置く必要がある。觀光客の滞在期間は六十日で、それ以上滞在すれば二百ペソの罰金に處せられるから注意を要する。

尙ほ政府との契約移住者、呼寄による者及び觀光客以外の普通入國者は上陸の際二百五十ペソの供託をすることを要する。

旅行経路 旅商の目的を以て中南米に旅行する場合、旅行者は主としてカリブ海諸地方又は南米諸國を巡廻するの

を常とする。此見地からすればコロンビアへ入る路は大體左の如く分つ事が出来やう。

コロンビアをカリブ海地方への旅商ルート中に加へられる時は當然北米又はパナマよりバランキリヤに入ることとなる。南米西岸各國との取引圈に入れる場合は、エクアドル國キト市から陸路入國する事が可能であるし、空路カリト市に入り或は沿岸航路船を以てブエナヴェンツラ港に上陸方法もある。ヴェネズエラ國より陸路入國の際はククターに至り、それより自動車でボゴター又はブカラマンガに至る。ヴェネズエラ國マラカイボより汽船による場合はいづれにしてもバランキリヤに入り奥地諸都市に連絡する。パナマからクリストバル塔よりメデリンへ空路直通線があり、海路による場合はカルタヘナ又はバランキリヤに上陸する。バランキリヤを中心とする場合を考へれば同所から奥地都市を一巡する旅程は、計畫の樹て様にもよるが大體一ヶ月乃至二ヶ月位と見ればよい。先づカリブ沿岸都市であるカルタヘナ、サンタマルタを訪れて後奥地に向けて出發する。此際問題となるのは、利用すべき交通機關、荷物の量であるがコロンビアに於ては河川を利用する場合荷物の運搬はエキバヒーロ (Equipaños) と呼ぶ運搬人を備ふか或は信用のある運送會社に委ねるの外はない。盜難その他煩雜から免れる爲には信用ある運送會社に依託するがよいであらう。左にバランキリヤを中心とする旅商経路を紹介する。

(一)、バランキリヤ—メデリン—カリ—ボゴター—ブカラマンガ。

飛行機を利用して大體三十日乃至四十日の行程でボゴタから必要に応じてマニサレス、カルタゴ等へ短時間で出張出来る。

(二)、バランキリヤ—ボゴター—ブカラマンガ—メデリン—カリ。

コロンビア共和国

プエナヴエントゥーラ市へはカリ市より汽車で六時間の行程で連絡出来る。又カリ市よりは空路バナグラ線によつてバナマ國エクアドル國グアヤキル方面へ出る事も出来る。陸路エクアドル國キトに向ふ計畫ならば、その途中ポバヤン市、パスト市等を通過することとなる。カリ市より國境まで約十五時間を要し國境よりキト市へは道路及び鐵道により短時間で通ずる。

(3)、パタンキリヤメデリン
これはマグダレナ河を利用する経路で、プエルト・ベリオで上陸メデリン市に入る。河川旅行三日半の行程である。

(4)、メデリン—ボゴタ

(5)、ボゴタイバグエ—アルメニア—マニサレス

(6)、マニサレス—カリ

(7)、太平洋岸より入國する場合はプエナヴエントゥーラ市へ海路上陸するか、エクアドル國よりカリ市に陸路入國するか或は空路カリ市に入り、各地を経てパタンキリヤに抜けるのを普通とする。

カリブ海三市(二週間)、メデリン(一週間)、カリ(七日)、マニサレス(四日)、ボゴタ(十四日)、ニブカラマンガ(三日)の旅程に於ける費用は、飛行機による場合一千二百ペソ、船舶、鐵道、自動車による場合二百ペソ位の最低豫算を見込めばよい。

六、貨幣、金融、外國爲替

貨幣 貨幣單位はペソで、補助貨として銀貨半ペソ(メデオ・ペソ)、ペセタ(二十セントポ)レアル(一〇セントポ)の三種がある。銅貨は白銅に五セントポ、二セントポ、一セントポがある。兌換紙幣は一ペソ、二ペソ、五ペソ十ペソ、五十ペソ、百ペソ、五百ペソの各種がある。

銀行 多數産業關係金融機關を統一した半官半民の農業銀行は同國産業界の中樞金融機關で最も重要視されている。一般商業銀行は二十三行あり、その中で外國銀行は左の如きものがある。

ドイツ・アンチオキア銀行、ロンドン・南米銀行、南米伊佛銀行、ナシ・ナル・シチー銀行、カナダ・ローヤル銀行
右の他國立共和銀行がある。

爲替 一九三一年に創始された爲替管理は外國送金方法に關する廣汎な規定を設けたが、其後輸入許可に關する問題を含む事となり、爲替管理局の有する權限は、最近に至つて益々擴充せられ一九三八年に公布せられた法令に依れば外務大臣及大藏大臣の認可に基いて商品別及び原産地國別に依る輸入制限をなす所の權限をも含む事となつた。更に一九三九年十二月歐洲戰爭に對處するたあ爲替及輸出管理局をして輸入優先權を商品別に附與することとなつた

が、之は國內産業の振興を目的としてゐる點は貿易の項に於て述べた處である。
金ペソはポンドにリンクしてゐたが、最近米弗リンクとなり一金ペソは九五・〇一仙で、一九三九年度紙幣ペソの換算率は五七・〇六仙であつた。

七、主要商業中心地

ボゴター市 (Bogotá) 共和國首府で海拔一、七〇〇米の高山に位し、市の背後にはグアダルーベ及びモンセラ一の二山がある。前面にはボゴター平原が展開してゐる。市街は東西六キロ半、南北約五キロに亘る。三月乃至五月及び九月乃至十一月は雨季で降雨量甚だ大である。人口三十三萬六千七百人である。

都市としてのボゴターは一五三八年創始以來大なる變化を蒙らなかつた爲、スペイン植民地風の面影を残し、街路は概して狭く、家屋も石材又は煉瓦建で近代風な建築物は少ない。著名建設物は主として教會、寺院、學校等で南米諸國獨立の父シモン・ボリバルの銅像がボリバル公園にある。景勝地としては郊外の山麓にあるボリバルの別墅、テケンダーマ湖等が有名である。

ホテルにはチャブチャインデヤン風のものがあり旅情をそそる。

海岸とボゴター市との交通は不便を極めるが、政治、經濟の中心地として内奥地との交通の中心をなしノルテ、オエスタ、スールの三鐵道が放射狀に延びてゐる。航空業は市を中心に發達し各地に航空網を擴張し一般交通は航空機

による場合が多い。

メデリーン市 (Medellin) アンチオキア縣の首都、コロンビア第二の都市である。一六七五年の創設である。メグリン河の右岸に位し、マグダレーナ河及アエルト・ペーリオ鐵道によつて外部に通じてゐる。人口十七萬六千八百十八人である。高原都市で海拔一千七百米の位置にあり平均温度は六十八度で一年中初夏の如き氣候で爽快を極める。鑛山業及珈琲生産の中心地としてコロンビア國隨一である。絹糸、綿糸、羊毛、チコレート、煙草、帽子、ガラス、燐寸等の工場が四九數個を數へコロンビアのマンチエスターと稱される。従つて都市としては近代化し米國風の建築物が少くない。文化施設にも鑛山學校、工業學校、大劇場を始めとして運動施設も完備してゐる。

カリリー市 (Cali) カリリー縣の首府で西コロンビア第一の商業都市で、ブエナヴェンツィラ港より百六十八キロの地點にあり、前方にカウカ谿谷を控へ海拔千米の高位に在る。人口は十萬一千三百五十四人で、文化的な都市で公園街路も整備し、スペイン風の優雅な建築が並ぶ市街、南米第一の鐘樓等觀光地として知られてゐる。

バランキリヤ市 (Barranquilla) マグダレーナ河口より約十一キロの地點同河の左岸に位し人口十五萬一千六百人共和國第三の都會、貿易港としては第一である。特にコロンビア珈琲の輸出港として世界に知られてゐる。純熱帶國の都市であり、貿易風季節以外は暑氣が甚だしい。

カルターヘナ市 (Cartagena) カリブ海に面する諸港中第二の商港であり、全南米を通じて最も典雅な町である。人口八萬四千九百三十七人を算し年平均温度は八十四度であるが、衛生施設が完備してゐるので健康都市である。一年中微風があり日光の直射を受ける所の外は涼しく特に夜中は清涼である。カラマール鐵道はカルターヘナ市を起點として居る。バランカ・ベルメヘと石油輸送管を以て結ばれてゐる。

サンタ・マルタ市 (Santa Marta) マグダレナ縣の首府でマンサナールス河口に位し、カルターヘナ市より一七六キロの地點に在る商港である。港は深く後方は低丘に囲まれ、街路整然として美麗な町である。國內交通の要地をなし、ユナイテッド・フルーツライン會社經營のパナナ國が附近にある。

ククタ市 (Cucuta) 又は San José de Cucuta) ククタ縣の主都で一八七五年の大震災で壊滅したが、その後再建された海拔二百九十四米の地位に在るが、酷暑の地であり黃熱病のある不健康地である。人口五萬七千四百八十二人で、北方への交通の基點でありヴェネズエラ國マラカイボへはオローベを経てエンコントラードス迄鐵道により、同所からスリア河を通じて連絡することが出来る。

ポパヤーン市 (Popayán) ポパヤーン縣の首府、カウカ河の上流左岸にあり、ブラセー火山の近傍に位し、風光明

麗なベンチ原野の一隅に在つて氣候温良な健康地である。人口三萬の純スペイン風の都會である。太平洋鐵道によりプエナヴェンツィラ港と連絡し、首府ポゴターへはトリーマ、ヒラルドー、太平洋鐵道によつて結ばれ、近郊より金、銀、プラチナ及銅を産出する。

プエナヴェンツィラ市 (Buenaventura) 太平洋岸に面し、コー灣に注ぐダグワ河中の一島にありコロンビア第三の重要な商港である。河底深く吃水二十四呎の航洋汽船の出入が可能である。コーヒー、カカオ、金、獸皮、ゴム、白金、木材、タダア、バナマ帽子を輸出する。

人口二萬七千二百二十人で平均温度は八十六度、暑熱甚だしいが毎日降雨があつて緩和されてゐる。

バランカ・ベルメヘ市 (Barranca Bermeja) マグダレナ河流域の港市でフェルト・ウイルチエスの約二十四キロ上流にある。石油精製工場があり、カルターヘナ港へ石油輸送管を通ずる。

チキンキーラ市 (Chiquinquirá) ポゴター市より約四十キロ、スアールス河右岸にあり人口三萬五千で牧畜業の中心地である。

ツマリーコ市 (Tumaco) プエナヴェンツィラ港より二百八十キロ南方にある太平洋岸第二位の商港でパチ河によ

つてバルパísoア及び南ナミール。縣を通じ、之等奥地土産品の輸出港となつてゐる。主要輸出品は銅、カカオ、糖
草、野菜等である。氣候は温度高く不健康地で年平均温度は華氏八十一度である。人口三萬五千人である。

(完)

南米市場と商

昭和十八年九月一日印刷
昭和十八年九月五日發行
(非賣品)

東京都麹町區霞關 外務省内
ラテンアメリカ中央會

發行者 海本徹雄

東京都麹町區内幸町二ノ一〇

印刷者 池田信路

東京都麹町區霞關 外務省内
ラテンアメリカ

發行所 中央會

東京都麹町區内幸町二ノ一〇

印刷所 洪洋社

東東四〇九五

955
117

(品 壳 非)